

禁電子式複写

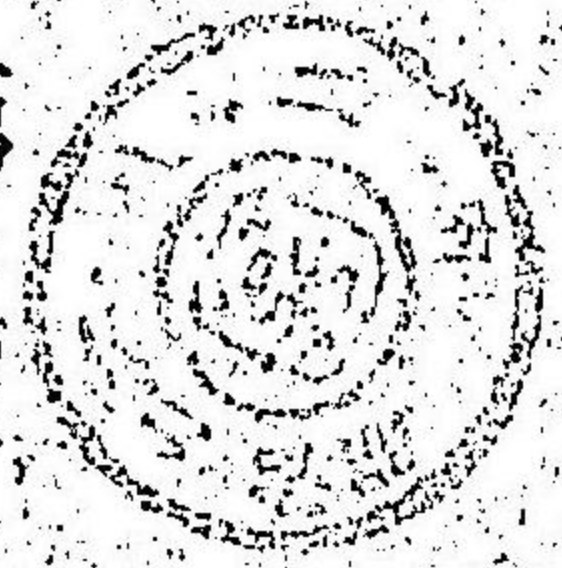
明治
廿五年

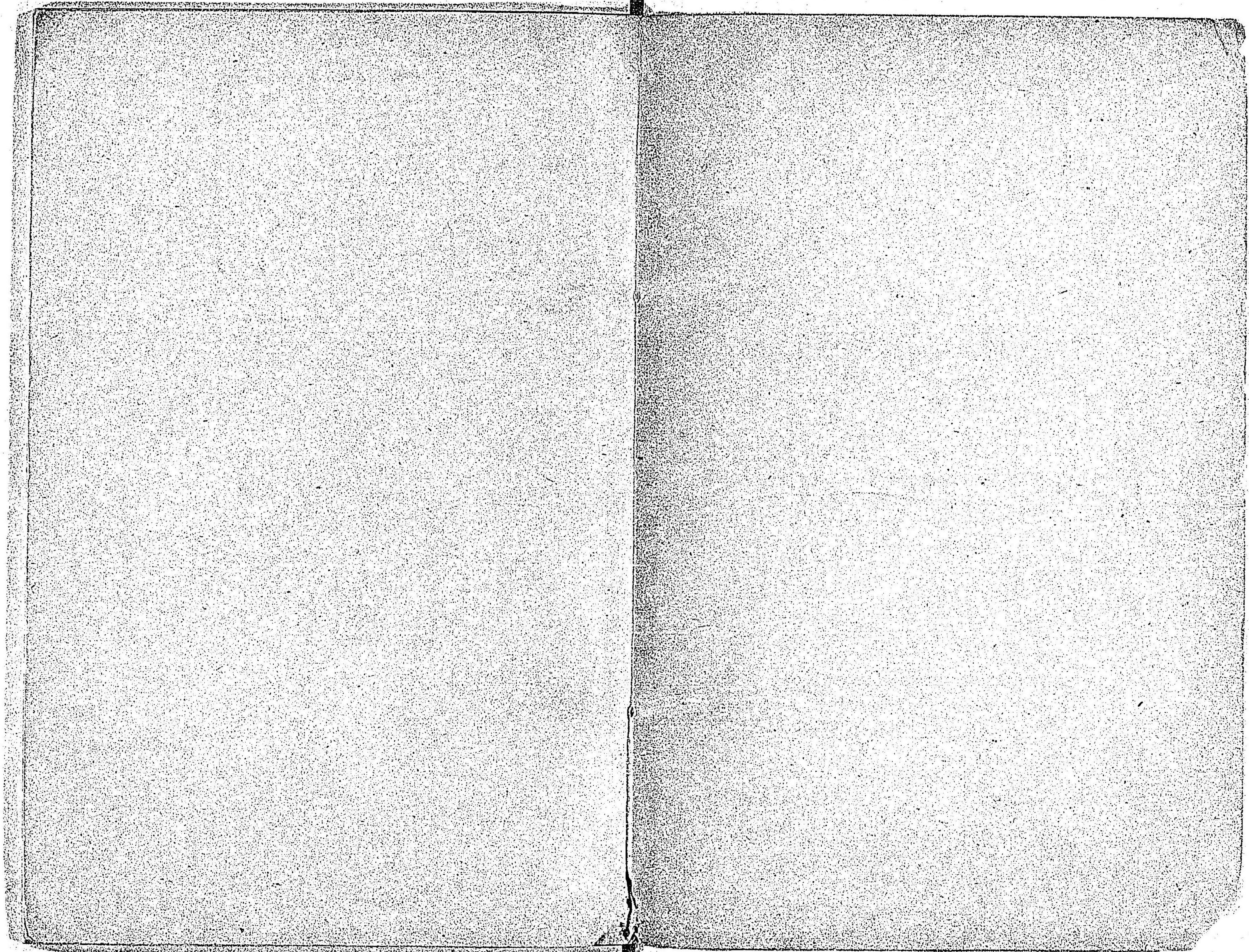
京都府府令達要約

第三十編

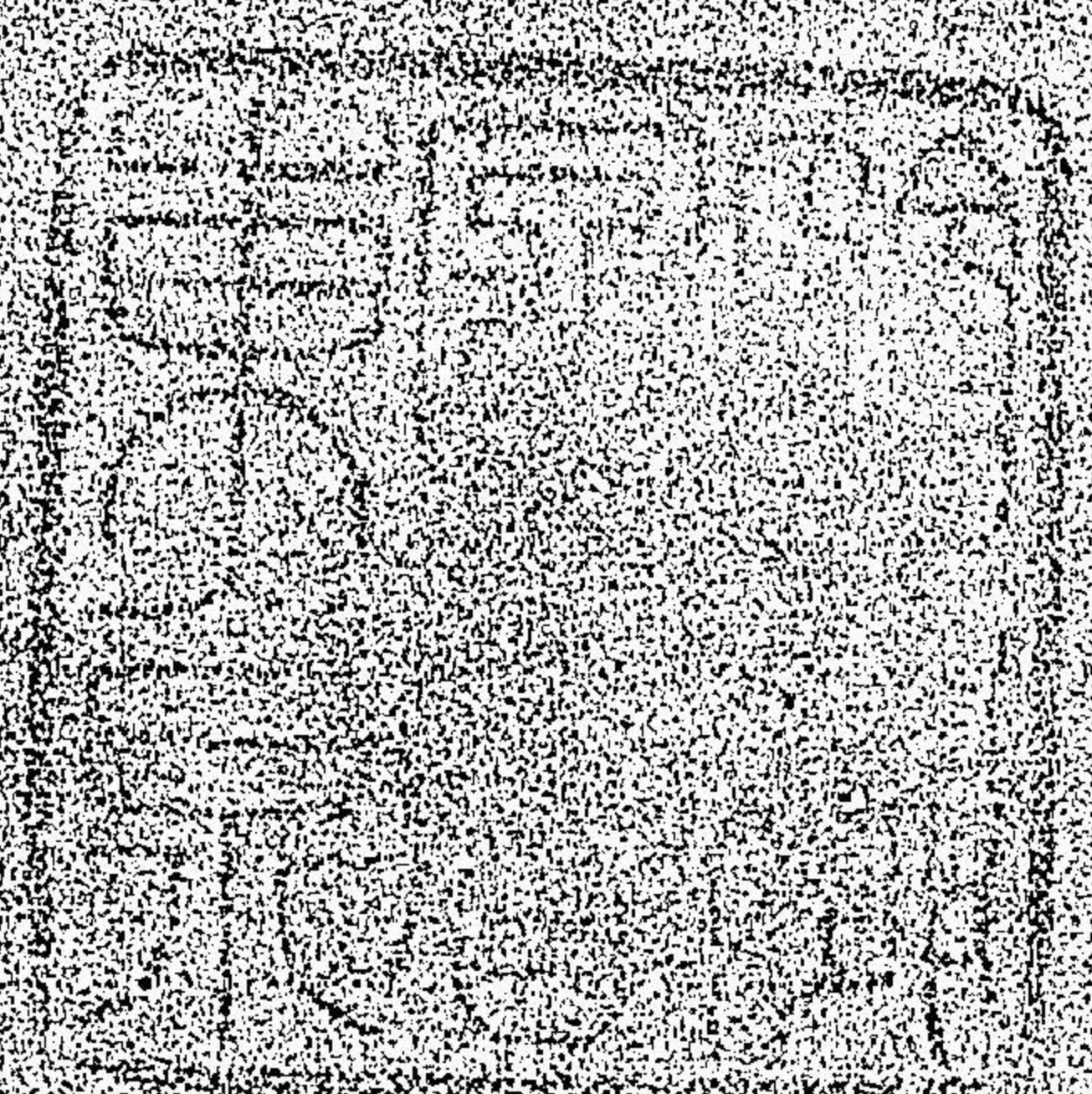
下卷

京都府内務部第二課編纂





1113
69-02



特14
520

○明治廿五年 京都府府令達要約

甲第一號 三月 郡町村



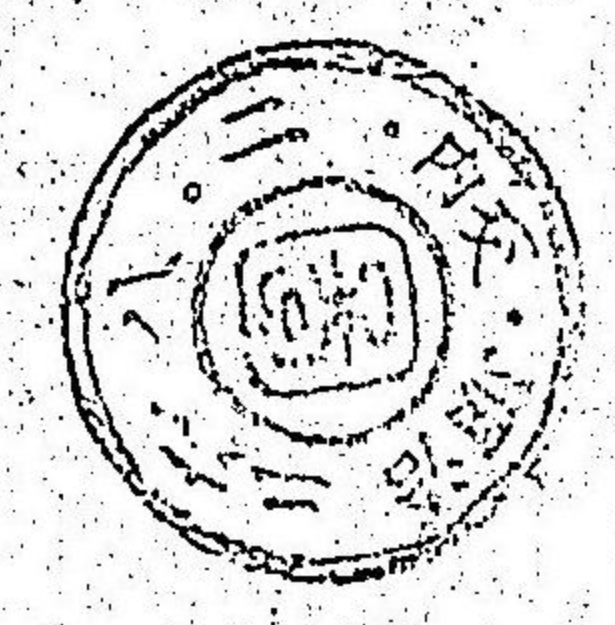
客年十一月四日甲第五十五號達中元様式之修正ニ因リ左
之通改正追加候條明治廿四年末調之分ヨリ右ニ據リ取調
フヘシ
但町村役場調ノ分郡役所へ送付後ニシテ備考追加ソタ
メ變更ヲ生スル向アラハ修正スヘシ
台相達ス

改正 (郡役所調)

其郡役所雇以下人員月俸

明治何年十二月三十一日現員

廿五年



合	小	給	郡務役所			人	月	俸
			計	日	十二圓未滿			
	使	仕		給				

追加(郡役所町村役場調ニ對スル備考)
 備考第三項計算シノ次ニ公暇日ニ日給ヲ支給セザル者ハ二十五日分ヲ以テ各ノ二十三字ヲ挿入シ末項ヘ左ノ

一項ヲ追加ス

一見習ノモノアラバ其階級ノ次ニ何ニ見習ト別掲スベシ

甲第二號十一月 郡及市ノ區役所 署

甲第三號十一月 郡

長崎縣長崎市ニ係ル所得事項通報ノ義ハ總テ當該直稅署長ニ於テ執扱候旨通知越候條自今右ニ關スル文書ハ直ニ其直稅署長ヘ發送スヘシ

右相達ス

甲第四號十一月 郡

明治十四年乙第三十七號達郡長委任條件中左ノ一條ヲ追加ス

第三百三十二條 淀川流域内山林火入伺實地検査ノ事

廿五年

右相達ス

甲第五號 一二月 郡及市ノ區役所 署

甲第六號 五月 郡

鳥取縣鳥取市及石川縣金澤市ニ係ル所得稅通報ノ義ハ總
テ當該直稅署長ニ於テ取扱候旨右兩縣ヨリ通知越候條自
今右ニ關スル文書ハ直ニ其直稅署長ヘ宛發送スヘシ

右相達ス

甲第七號 十二月 郡

明治十四年 月當廳乙第三十七號達第百三十三條第二項ヘ
左ノ但書ヲ追加ス

但民有社寺境内ニ係ルモノモ本項ノ通タルヘシ
右相達ス

甲第八號 十二月 郡及市ノ區役所

地方稅滯納處分報告表明治廿四年度分ヨリ本年 四月 大藏
省訓令第五號様式ニ倣ヒ調製シ翌年度四月二十日迄ニ内
務部第一課ヘ送付スヘシ
右相達ス

甲第九號 廿七日 郡町村

町村土木工事ニシテ地方稅補助費ヲ申請セントスルハ
別紙雛形ニ倣ヒ設計書并圖面ヲ添ヘ(假定縣道ニ係ル圖書
類ハ別ニ達シアルヲ以テ之ヲ除ク且修繕ニ係ルモノハ圖
面ヲ要セス)申請スヘシ

但明治廿五年度通常修繕起工ニ係ル補助費申請期限ハ
本年ニ限リ特ニ本年三月三十日迄延期ス

廿五年

右相達ス

(雜形)

道路開鑿工事(設計書)(精算書) 設計書ハ從來ノ目録見帳
精算書ハ從來ノ精算帳ヲ云フ以下全シ

何郡何町

大字何々

大字何々

何處ヨリ何處ニ達スル街道

測標自第一號至第十五號

一道路開鑿延長四十八間五分

巾貳間

但切付勾配若石ハ五分(高六尺ニ三尺)土ハ一割(高六尺ニ六尺)トシ置出シ法腹ハ
築固メ一尺毎ニ筋芝植付路面ハ川砂利又ハ質堅固ナル割石ヲ(一寸六面以)敷キ中
下又ハ何々
央何寸高ニシテ開鑿ノ場處ハ巾何尺深何尺ノ溝筋堀設道路ノ方ハ積芝植付ノ積
工費高金何圓何拾何錢何厘 起工者檢印

内

金何圓何拾何錢何厘

金何圓何拾何錢何厘

地方稅補助費

町村費

廿五年

△一

此 譯

△三

位	置	品目	長	寸間	敷	量	石工	入夫	一個	當單	價金	員	摘	要
至自第一號	至自第一號	取土石	十間五分	○	立七坪二合	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	土坪積算ヨリ算出スルヲ以テ發ニ寸間ヲ記入セス	○
至自第一號	至自第一號	取岩	全	○	立五坪何人	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	全	○
全	全	置土全		○	立十坪	○	何人	何人	○	○	○	○	全上項取岩土石ヲ以充用スルニ付入夫ヲ要セス	○
全	全	取土石二十間		○	立十坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	土坪積算ヨリ算出スルヲ以テ發ニ寸間ヲ記入セス	○
全	全	置土全		○	立十坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	全上項取土石立十坪ヲ以テ充用ス	○
自第九號	自第九號	置土十八間		○	立五十坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	全上土坪積算ヨリ算出スルヲ以テ發ニ寸間ヲ記入セス	○
自第十五號	自第十五號	砂利置	四十八間	○	立六坪五合	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	路面ニ布ク但川砂利徑一寸六面以下五分目以上	○
自第十五號	自第十五號	抱土石垣	十二間	○	六坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	一面ニ付三十詰扣一尺五寸	○
○	○	生松太二	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	野面積	○
○	○	丸太二	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	石垣土壘木	○
○	○	全丸太四尺	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	土壘木一本ニ四本打止テ抗	○
○	○	石垣五間	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	石垣土壘木	○
○	○	石垣五間	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	野面積	○
○	○	生松太二間	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	石垣土壘木	○
○	○	全丸太三尺	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	土壘木一本ニ四本打止テ抗	○
○	○	敷石二間五分	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	平一坪ニ付二十七詰扣一尺以上	○
○	○	敷石二間五分	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	張石	○
○	○	栗石五間	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	石垣敷石等ノ石工手傳	○
○	○	栗石五間	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	石垣裏詰	○
○	○	栗石五間	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	床堀土壘木及止テ杭打共一間ニ付何分	○
○	○	栗石五間	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	水抜ニ用ユ三ヶ處分埋込手間ニ付何分	○
○	○	栗石五間	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	問共ノ代	○
○	○	栗石五間	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	砂利布均シノ上往返百度曳キ堅牛及人夫賃共	○
○	○	栗石五間	○	○	○	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	地價並ノ買收	○

廿五年

△三

位	置	品目	長	寸間	敷	量	石工	入夫	一個	當單	價金	員	摘	要
自第五號	自第五號	水拔二間五分		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	床堀土壘木掘付止テ杭打共一間ニ付何尺	○
○	○	石垣五間		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	野面積	○
○	○	生松太二間		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	石垣土壘木	○
○	○	全丸太三尺		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	土壘木一本ニ四本打止テ抗	○
○	○	敷石二間五分		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	平一坪ニ付二十七詰扣一尺以上	○
○	○	敷石二間五分		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	張石	○
○	○	栗石五間		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	石垣敷石等ノ石工手傳	○
○	○	栗石五間		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	石垣裏詰	○
○	○	栗石五間		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	床堀土壘木及止テ杭打共一間ニ付何分	○
○	○	栗石五間		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	水抜ニ用ユ三ヶ處分埋込手間ニ付何分	○
○	○	栗石五間		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	問共ノ代	○
○	○	栗石五間		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	砂利布均シノ上往返百度曳キ堅牛及人夫賃共	○
○	○	栗石五間		○	立三坪	○	何人	何人	一坪二付	○	○	○	地價並ノ買收	○

位	置	品	目	長	寸	間	數	量	石	工	人	夫	一	個	當	單	價	金	員	摘	要	
○	全	畑	○	○	○	○	五	十	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	地價ノ二分撥買收 但地價一步金何錢ノ割
○	立	木	○	○	○	○	柿	木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	柿三ヶ年ノ收穫高チ平均シ 一ヶ年分直積セシモノナリ
○	立	毛	○	○	○	○	一	麥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	半作麥三ヶ年收穫チ平均シ 半ヶ年分チ直積セシナリ
○	損	料	○	○	○	○	一	反	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	五屋ニ階造
○	家	屋	○	○	○	○	建	坪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	測量費及工事監督者ノ費用
○	移	轉	○	○	○	○	建	坪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
○	雜	費	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

右之通ニ有之候也

年月日

何郡

何町村長又ハ組合管理者何某印

(備考)

圖面調製方

- 一 全線路ノ圖 (郡界町村界大字界) 何處ヨリ何處ニ達スル街道
- 一 全線ノ内開鑿 (山川等大畧ヲ記ス) 全線ヲ云フ 既成ノ分ハ其起工
- 未済色分ケ 年度ヲ記入ス

- 一 全線ノ内路線付替ノ箇所ハ舊道ノ模様及新舊道長短ヲ併記ス
 - 一 全線ノ内起工申請ノ部分區畫舊道ト分合ノ模様
 - 一 開鑿取土石置土坪積算圖
- 設計書記載方
- 一 物品數量寸尺等ハ表中ニ揭示シタル如キヲ例トシ明細ニ記載スルヲ要ス但單價ノ欄ニハ某品ノ一個代一人賃格ヲ記シ金員ノ欄ニハ某品數個代數人賃格ノ計金ヲ何レモ數字ヲ以テ掲記スヘシ以下倣之

(雛形)

道路修繕工事(設計書)(精算書)

何郡何町

大字何々

何街道

小字何々

一路面砂利置長百間 平均 厚二寸間 但川砂利徑八分以下

此立六坪七合

全町

廿五年

一法腹欠所長十間 平均高一分
 此立土五坪 平均厚五分
 但何々ニヨリ修繕ノ積リ
 此譯

品目	員數	單價	金額	員	摘	要
人夫	何人					川砂利持運布均シ共一坪ニ付何人
全	何人					土持込桑筋芝一尺間ニ植付共一坪ニ付何人
小計	〇					

全郡全町

大字何々

全街道
 小字何々
 一土抱石垣長五間
 此平五坪

高一間
 但一坪三十五六詰扣一尺五寸

△六

全所
 一水抜土管 長二間 徑六寸
 此譯

品目	員數	單價	金額	員	摘	要
石垣	五坪				野面石	
石工	何人				野面積平一坪ニ付何人	
人夫	何人				裏詰栗石厚三分此立一坪五合一坪ニ付何人	
全	何人				石工手傳一人ニ何分	
土管	六本				一間三本搬運送附付手間共	
小計	〇					
合計	〇					

工費 金何圓何拾何錢何厘

起工者檢印

内

廿五年

△七

△八

地方稅補助費
町村費

金何圓何拾何錢何厘
金何圓何拾何錢何厘
右之通ニ有之候也

年月日

何郡

何町村長又ハ組合管理者何某印

(街道異ナルキハ別紙ニスルヲ要ス)
(雛形)

堤防修繕工事(設計書)(精算書)

何郡何町村

大字何々

何川筋

小字何々

一堤防欠所長三間

平均法高二間
厚五分

此立土砂三坪

全所

一片枿

長七間

平均巾高八分
一間五分

此詰石八坪四合

但何々ニヨリ修繕ノ積リ

此譯

但一個三寸六面以上

品目	員數	長	寸	間	單	價	金	員	摘	要
人夫	何人	〇	〇						土持込梁細法脇一尺間ニ筋芝種 付共一坪ニ付何人 石運送詰手間共一坪ニ付何人	
全	何人	〇	〇						親柱間ニ送り二本打	
檜丸太	八本	十四尺	末口四寸						立成杭間ニ二十四本遣	
全丸太	九十八本	十一尺	末口三寸						引尾木間ニ送り二本打	
全丸太	八本	十一尺	末口四寸						總末止杭引尾木一本ニ三本打	
全丸太	八本	十一尺	末口三寸						親柱引尾木組込一人何ヶ所拵	
大工	何人	〇	〇						大工手傳一人ニ何分	
人夫	何人	〇	〇						親柱一人ニ何本打	
全	何人	〇	〇							

廿五年

△九

全	何人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	立成木一人ニ何本打
全	何人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	引尾木止杭一人何ヶ處仕立
小計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

全郡全村

大字何々

全川筋

小字何々

一護岸沈籠六本

長五間 徑一尺五寸

此詰石一坪五合

籠一本二合四夕七才詰

此譯

△十

品目	員數	長	寸間	單價	金員	摘	要
唐竹	九十本	日通り 四五寸回り	○	円	円		籠造竹籠一本ニ付十五本遣
人夫	何人	○	○	円	円		籠詰石一坪詰手間共何人

全	何人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	籠造り手間一本ニ付何分
小計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
合計	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

工費 金何圓何拾何錢何厘 起工者檢印

内

金何圓何拾何錢何厘

地方稅補助費

金何圓何拾何錢何厘

町村費

右之通ニ有之候也

年月日

何郡

何町村長又ハ組合管理者某印

(川名異ナル片ハ別紙ニスルヲ要ス)

(錐形)

橋梁(架設)(架換)(修繕)工事(設計書)(精算書)

何郡何村町

廿五年

△十一

甲第十號 三月 市ノ區役所

市立小學校正教員恩給基金收入手續左ノ通相定ム

市立小學校正教員恩給基金收入手續

第一條 市參事會ハ明治廿三年^{十月}法律第九十號第十四條

第三項市立高等小學校正教員ノ納金ニ其第二項市ノ納

金ヲ添へ毎年三月六月九月十二月ノ四回ニ取纏メ其翌

月十日迄ニ之ヲ當廳ニ相納ムヘシ

第二條 前條市立尋常小學校正教員ノ恩給基金ニ關シテ

ハ市ノ區役所ニ於テ之ヲ取扱フヘシ

第三條 市參事會又ハ市ノ區役所ヨリ教員恩給基金ヲ納

ムルニハ書式ニ照シテ納証及仕譯書ヲ添へ地方稅爲換

方ノ預リ証書ヲ以テスヘシ

廿五年

第四條 市立小學校正教員ノ恩給基金ヲ納入シタルキハ當
廳ヨリ市參事會又ハ市ノ區役所ニ領收証書ヲ交付スヘシ
書式

納 証

一金何圓何拾錢也 爲換券第何號

但明治何年何月ヨリ何月ニ至ル三ヶ月間市立高等小

學校正教員恩給基金納額

右相納候也

明治何年何月何日

市參事會知事氏 名 印
又ハ市ノ區長氏 名 印

府知事宛

明治何年何月ヨリ何月ニ至ル三ヶ月間市立高等小

學校正教員恩給基金納額仕譯書

一金何圓何拾錢也

內

金何圓何拾錢

金何圓何拾錢

內譯明細書

何々小學校外何校
正教員ヨリ納金高
當市(第何區)ヨリ納金高

納額	月數	校名又ハ市(區)名	月俸額	月額百分ノ一ニ當ル金額	姓名
何圓何拾錢	三ヶ月分	何々校	何圓	何拾錢	何某
何拾錢	全		何圓	何拾錢	何某
何拾何錢	何ヶ月分	何々校	何圓	何拾何錢	何某
何拾何錢	何ヶ月分		何圓	何拾何錢	何某
小計	何ヶ月分	何々校	何圓	何拾何錢	何人
何圓何拾錢	一ヶ月又ハ二ヶ月分		何圓	何拾何錢	何人

何圓何拾錢	三ヶ月分	當市(第何區) 納金	何拾何圓	何圓何拾錢
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、
、	、	、	、	、

右仕譯書面ノ通相違無之候也

明治何年何月何日

又ハ市ノ區長氏名印

府知事宛

右相達ス

甲第十一號ニ三月 郡町村

町村立小學校正教員恩給基金收入手續左ノ通相定ム

町村立小學校正教員恩給基金收入手續

第一條 町村役場ハ明治廿三年法律第九十號第十四條

第三項 町村立小學校正教員ノ納金ニ其第二項 町村ノ納金ヲ添へ毎年三月六月九月十二月ノ四回ニ取纏メ其翌月五日迄ニ之ヲ郡役所ニ相納ムヘシ

第二條 郡役所ニ於テ前條 町村立小學校正教員ノ恩給基金ヲ收入シタルキハ即時地方稅爲換方ニ振り込其預リ証書ヲ以テ毎年一月四月七月十月十日迄ニ其地發送當廳ニ相納ムルモトス

第三條 町村役場ヨリ教員恩給基金ヲ郡役所ニ納ムルニハ第一號書式郡役所ヨリ之ヲ當廳ニ納ムルニハ第二號書式ノ納証及仕譯書ヲ添付スヘシ

第四條 町村立小學校正教員ノ恩給基金ヲ納入シタルキハ郡役所ヨリハ町村役場ニ府廳ヨリハ郡役所ニ領收証

廿五年

十一

書ヲ交付スルモノトス

書式第一號

納証

一金何圓何拾錢也

但明治何年何月ヨリ何月ニ至ル三ヶ月間當村立小學

校正教員恩給基金納額

右和納候也

明治何年何月何日

郡長宛

町村長氏 名印

明治何年何月ヨリ何月ニ至ル三ヶ月間當村立小學

校正教員恩給基金納額仕譯書

一金何圓何拾錢也

此譯

金何圓何拾錢也

内

金何圓何拾錢

金何圓何拾錢

金何圓何拾錢

右仕譯書面之通相違無之候也

明治何年何月何日

郡長宛

町村長氏 名印

書式第二號

納証

一金何圓何拾錢也

廿五年

爲換券第何號

何々小學校正教員ヨリ納金高

訓導何某月俸何圓ノ百分ノ一三ヶ月分
訓導何某月俸何圓何月何日新任轉免ニ
付日割支給額何程ノ百分ノ一及月俸全
額ノ百分ノ一何ヶ月分
何々小學校正教員ノ三ヶ月間給料額百
分ノ一ニ當ル金員當町ヨリ納金高

但明治何年何月ヨリ何月ニ至ル三ヶ月間當郡村立小
學校正教員恩給基金納額

右相納候也

明治何年何月何日

郡長氏 名印

府知事宛

明治何年何月ヨリ何月ニ至ル三ヶ月間當郡村立小
學校正教員恩給基金納額仕譯書

一金何圓何拾錢也

内

金何圓何拾錢

何々小學校外何校正教員ヨリ納金高

金何圓何拾錢

何町村外何ヶ町村ヨリ納金高

内譯明細書

納額		月數	校名又ハ町(村)名		月俸額	月額百分ノ一 ニ當ル金額	姓名
何圓何拾錢	何拾錢	三ヶ月分	何々校	何圓	何拾錢	何	何某
何拾何錢	何拾何錢	一ヶ月分		何圓	何拾何錢	何	何某
何拾何錢	何拾何錢	一ヶ月又ハ二ヶ月分		何圓	何拾何錢	何	何某
小計	何圓何拾錢			何拾何圓	何圓何拾錢	何	何人
何圓何拾錢	何拾何錢	三ヶ月分	何町村納金	何拾何圓	何圓何拾錢	何	何人

右仕譯書面ノ通相違無之候也

廿五年

明治何年何月何日

郡長氏名印

府知事宛

右相達ス

甲第十二號 七月三日 郡署

甲第十三號 七月三日 市ノ區役所

甲第十四號 八月三日 郡町村 署

甲第十五號 八月三日 郡

明治十四年七月乙第三十七號達郡長委任條件中第一百七條第百三十八條ヲ刪除シ左ノ一條ヲ追加ス

但本年府令第七號第一類ノ稟請ニ對シテハ便宜查確ノ上詳細ノ意見ヲ副申スヘシ

右相達ス

第四百十條 明治廿五年三月府令第七號第二類ニ係ル河港

道路橋梁堤防樋管堰埭溜池用悪水路暗渠等ノ事業ニ付

願ノ事

甲第十六號 三月十日 町村及市ノ區役所 署

甲第十七號 三月十日 郡及市ノ區役所

本府尋常師範學校小學校教員講習規則別紙之通相定ム

右相達ス

京都府尋常師範學校小學校教員講習規則

第一條 本則ハ管内尋常小學校教員タルニ必須ノ學科ヲ練習セシムルカ爲メ之ヲ設クルモノトス

第二條 講習員ハ左ノ資格ヲ有スル者ヨリ之ヲ募集ス

一 小學校教員免許狀ヲ受得シ一ケ年以上公立小學校

廿五年

十七

訓導若クハ准訓導ノ職ニ在リシ者

二 従前ノ成規ニ依リ免許狀ヲ受得シ一ケ年以上公立

小學校訓導若クハ授業生ノ職ニ在リシ者

前項第一款ノ准訓導第二款ノ授業生ニシテ募集ニ應ス
ヘキ者ハ其年齢男子ハ十九年以上女子ハ十七年以上ノ
者ニ限ル

第三條 講習期限ハ五ヶ月以上一ケ年以内トシ其都度之
ヲ定ム

第四條 講習時間ハ毎週凡ソ三十四時トス

第五條 講習員ハ一回定員五拾名トス

募集ノ期日、人員、資格及學力調査方ニ付テハ其都度學校
長ヨリ各郡長及市ノ區長ニ通知スヘシ

第六條 郡長及市ノ區長ニ於テ前條第二項ノ通知ヲ受ケ

タルキハ志願者ヲ募リ其中ニ就テ之ヲ撰出スヘシ

但志願者現ニ教職ニ在ルキハ郡長ニ於テ其學校ノ管
理者ニ協議ノ上撰出スヘシ

第七條 講習學科ハ明治二十四年十一月文部省令第十九號第

九條尋常小學校本科正教員ノ試験科目中ニ就キ其時々
之ヲ定ム

第八條 講習員ハ學校長指定ノ場所ニ寄宿スヘシ

第九條 講習員ヘハ學資補助トシテ一ケ月金貳圓ヲ支給
ス

但歸郷中ハ本文學資ヲ給セス

第十條 講習員ハ中途退學スルヲ許サス

但已ムヲ得サル事情アリト認ムル者ハ此限ニアラス
第十一條 講習ハ試験ニ依リ成績ヲ考査シ其終リニ於テ
合格學科ノ修了証書ヲ授與スヘシ

第十二條 講習ヲ經タル者ハ其修了ノ月ヨリ滿二ケ年間
ハ府知事ノ指定ニ從ヒ管内公立小學校教員ノ職ニ從事
スヘキ義務アルモノトス

第十三條 講習中途ニシテ退學シ又ハ講習ヲ終リ前條ノ
義務年間ニ於テ指定ノ職務ニ就カス若クハ教員タルノ
面目ヲ汚スヘキ行爲アリテ未タ其職ニ就カサル前教員
免許狀ヲ沒收セラレタル者ハ講習中ノ給費金額ヲ一時
ニ償還スヘシ
講習ヲ經タル者一時指定ノ教職ニ從事スルモ第十二條

ノ義務年間ニ於テ妄リニ之ヲ離ル、等不都合ノ行爲ア
リテ職務ヲ免セラレタル者ハ其義務年間ノ月數ヲ以テ
講習中ノ給費金額ヲ除シ其商ニ免職ノ翌月ヨリ義務ヲ
終ルヘキ月迄ノ月數ヲ乘シ其額ヲ一時ニ償還スヘシ

第十四條 前條ノ場合ニ於テ本人ヨリ給費金額ヲ償還セ
サル者ハ保証人ニ於テ之ヲ辨償スヘシ

第十五條 講習員ニシテ引續一ケ月以上欠席スル者アル
者ハ退學セシム此場合ニ於テハ第十三條ニ依リ給費金
額ヲ一時ニ償還スヘシ

疾病其他已ムヲ得サル事故ノ爲メ學校長ニ於テ退學ヲ
許シ又ハ府知事ニ於テ就職義務ヲ免カレシメタル者ハ
第十三條ニ依ルノ限リニアラス

但學校長ニ於テ退學ヲ許スヘキ場合ハ府知事ノ指揮
ヲ乞フヘシ

第十六條 講習願書及証書式ヲ定ムルコト左ノ如シ
但証書ニ連署スヘキ保証人ハ管内ニ於テ一家計ヲ立
ル者ニ限ル

講習願書式

某儀本府内小學校教員志願ニ付御校ニ於テ講習相受度
別紙履歷書相添此段相願候也

住所族籍

年月日

姓 名

學校長宛

(履歷書ニハ生年月日、現齡、學業、免許狀、卒業証書、賞罰、勤務

等ノ事項ヲ詳具スヘシ)

証書式

某儀今般御校ニ於テ講習相受候儀御許可相成候ニ付テ
ハ若シ中途退學スルカ若クハ御指定年間奉職ノ義務ヲ
盡サヌ又ハ不都合ノ行爲アリテ免職或ハ免許狀ヲ沒收
セラレタルキハ在學中給與ヲ受ケタル學資ハ御指定ニ
從ヒ一時ニ償還可致若シ御指示ノ時日マテニ一時償還
セサルキハ保証人ニ於テ引受其期限後十日以内ニ辨償
可致候依テ保証人連署証書差出候也

住所族籍

年月日

姓 名 印

住所族籍

廿五年

保証人 姓 名 印

學校長宛

甲第十八號 十五日 郡及市ノ區役所 署

甲第十九號 廿三日 郡町村及市ノ區役所

徵兵令第十一條第三項ニ依リ六週間陸軍現役ニ服スヘキ者取扱方左ノ通相定ム

但明治二十三年三月本府甲第十七號達ハ廢止ス

- 一 郡長若クハ市ノ區長ハ其徵募區内小學校ノ教職ニアリ其年六週間陸軍現役ニ服スヘキ者ヲ取調左ノ書式ニ由リ人名書ヲ作り毎年四月十五日迄ニ當廳ヘ差出スヘシ
- 一 徵兵適齡已前六週間陸軍現役ニ服シタル者及不合格ニ

テ國民兵ニ編入スヘキモノ徵兵適齡ニ至レハ市ハ區長郡ハ町村長ニ於テ壯丁名簿ヲ作り郡ハ町村長ヨリ郡長ニ差出スヘシ

一 郡長若クハ市ノ區長ハ前項現役ニ服シタル者ノ壯丁名簿ハ郡役所若クハ市ノ區役所ニ備置滿二十六歳ニ至ル迄異動アル毎ニ訂正加除シ不合格者ノ壯丁名簿ハ大隊區徵兵署ヘ差出スヘシ

右相達ス
書式

六週間陸軍現役ニ服スヘキ人名

何府縣何市(郡)區何町(村)字何第何番戶(寄留ノ者ハ本籍ト併記スヘシ)

廿五年

族職業某何男(何々)

身幹 尺寸分

氏 名

誕生年月日生

明治何年何月何日公立何府縣師範學校卒業
何年何月何日公立何小學校長(訓導)

甲第二十號 四五月 町村及市ノ區役所

納税代人ヲ置キタル土地ノ所有者ニシテ國稅徵收法第十
三條ニ該當スルキハ納税代人住所ノ大字名氏名ヲモ報告
書へ記載スヘシ

右相達ス

甲第二十一號 四廿一日 郡町村及市ノ區役所 署

甲第二十二號 四廿五日 與謝郡 加悦町役場
岩瀧村役場

東京中央氣象臺ヨリ本府へ向ケ發スル警報ハ當地ニ向ヒ

進行スヘキ暴風雨アルヲ測知シタルカ又ハ風雨必ス強カ
ラサルモ當地方亦其暴風雨ノ範圍内ニ在ル等ノ時ニ於テ
之ヲ發スルモノナレハ爾來左ノ手續ヲ以成ヘク警戒ヲ加
フヘシ

右相達ス

警報取扱手續

第一條

一其町村役場ハ府立測候所ヨリ發シタル警報ヲ受ケタル
キハ直チニ之ヲ適宜ノ場所へ揭示シ及ヒ町村内ノ警察
分署又ハ巡查駐在所へ急報スヘシ

第二條

一加悦町所在ノ警察分署及岩瀧村巡查駐在所ニ於テハ第

廿五年

一條ノ警報ヲ受ケタルキハ適宜ノ場所ヘ之ヲ揭示スヘシ

第三條

一 警報符號文及揭示方式等ハ府立測候所ヨリ一定ノ書式ヲ報告スヘシ

第四條

一 警報揭示ノ時間ハ東京中央氣象臺ニ於テ電報ヲ發シタル時刻ヨリ向フ四十八時間揭示スヘキモノトス
但四十八時間ヲ經過セハ直チニ揭示ヲ取除クヘシ

第五條

一 警戒繼續ノ報ヲ受ケタルキハ該電報東京中央氣象臺發ノ時刻ヨリ起算シ更ニ四十八時間ヲ繼續警戒スヘシ

第六條

一 解警ノ報ヲ受ケタル時ハ前四十八時間内ト雖モ直チニ揭示ヲ取除クヘシ

甲第二十三號四月廿六日 郡町村及市ノ區役所

明治廿三年十一月本府印第五十七號 達召集布達兵員到着日數

表調査例第四項左ノ通り改正ス

但同第五項ニ掲クル里程中左ノ陸軍里程表經路ニ係ルモノハ該表ニ依リ調査スヘシ

第四項 市區町村ノ兵員出發時限ハ召集令狀領收後ヨリ起算シ廿四時經過之後召集地若クハ集合地ニ向ケ出發スルモノトシ算スヘシ

陸軍里程表

自大阪		經路		里		程	
		線路	哩鎖、輪	線路海里分厘	陸路	里町間尺	陸路
大阪	兵庫 神戸	姫路大阪間	四五	三八、〇〇			
大津	京都 馬場	同 馬場間	三六	六七、〇〇			
伏見	京都 稻荷	同 稻荷間	二六	四七、〇〇			
青野	神戸 明石 小野	同 明石間	三三	二三、三七			
自姫路							
大阪	兵庫 神戸	姫路大阪間	五四	三八、三一			
大津	神戸 大阪 馬場	同 馬場間	九二	二五、三二			
		馬場大津間					〇 一八、五七、〇
							九 一八、三〇、三
							一 〇九、〇〇、〇
							六 〇四、四七、〇

自大津

伏見	神戸 大阪 稻荷	同 稻荷間	八三	〇五、三一					稻荷伏見間	一	〇九、〇〇、〇
青野	加古川 小野	同 加古川間	九	七三、八二					加古川青野間	六	〇四、四七、〇
自大津											
大阪	馬場 京都	馬場大阪間	三六	六七、〇〇					大津馬場間	〇	一八、五七、〇
姫路	馬場 大阪 神戸	同 姫路間	九二	二五、三一					同	〇	一八、五七、〇
伏見	馬場 稻荷	同 稻荷間	八	二〇、〇〇					同及稻荷伏見間	一	二七、五七、〇
青野	馬場 神戸 明石 小野	同 明石間	六九	一〇、三七					大津馬場間及青野明石間	一〇	〇一、二七、三
自伏見											
大阪	稻荷 京都	稻荷大阪間	二八	四七、〇〇					伏見稻荷間	一	〇九、〇〇、〇
姫路	稻荷 大阪 神戸	同 姫路間	八三	〇五、三一					同	一	〇九、〇〇、〇

大津	稻荷馬場	同馬場間	八	二〇、〇〇			同及馬場	一	二七、五七、〇
青野	稻荷大阪神戸	同明石間	六〇	七〇、三七			伏見稻荷間及明石青野間	一〇	二七、三〇、三
自青野									
大阪	小野明石神戸	明石大阪間	三三	二三、三七			青野明石間	九	一八、三〇、三
姫路	小野加古川	同加古川姫路間	九	七三、八二			同加古川間	六	〇四、四七、〇
大津	小野明石神戸	明石馬場間	六九	一〇、三七			青野明石間及馬場大津間	一〇	〇一、二七、三
伏見	小野明石神戸	同稻荷間	六〇	七〇、三七			青野明石間及稻荷伏見間	一〇	二七、三〇、三

右相達ス

甲第二十四號 廿八日 郡

二十三年 月 當府甲第三十四號 達現金前渡取扱規則第十一條 科目表中 徴兵費ノ項 檢丁及新兵旅費ノ目 番號二十五年

度所屬ノ分ヨリ第十二目トアルヲ第十一目ト訂正ス
右相達ス

甲第二十五號 五月 郡町村及市ノ區役所

甲第二十六號 五月 郡町村及市ノ區役所

明治廿三年 十月 勅令第二百十五號 小學校令ニ依リ新ニ設置

シタル小學校ニ於テ諸般ノ準備整ヒ從來設クル小學校ヲ廢止スルトキ又ハ從來ノ尋常小學校ヲ繼續維持シ新ニ學級編制ノ後任用スル教員職務ニ就クトキハ其當日限り從來ノ小學校職員一同解職トス
右相達ス

甲第二十七號 五月 郡町村及市ノ區役所

明治廿四年 三月 勅令第十九號 第六條ニ基キ一時存續シタル

廿五年

小學校ニ係ル事務引繼方ヲ規定スルコト左ノ如シ

一時存續シタル小學校ニ係ル事務引繼方ニ關スル規定

第一條 明治廿四年三月勅令第十九號第一條第五款及第三

條ニ依リ一時存續スル小學校ノ職員ハ廢校后十五日以

内ニ其殘務ヲ取纏メ從來取扱タル圖書器械標本其他ノ

物品并諸帳簿及諸文書ニ關シ詳細ナル目錄ヲ添ヘ之ヲ

其從來ノ管理者ニ差出スヘシ

第二條 從來設ケタル小學校ト新ニ設クル小學校トノ管

理者ヲ異ニスルトキハ從來ノ管理者前條ニ依リ引受タ

ル物件ヲ速ニ其新ニ設クル小學校ノ管理者ニ引渡スモ

トス

但教授上及生徒管理上ニ屬スル諸帳簿等ノ外廢校ノ

處分上引繼コトヲ得サル物件ニ就キテハ本文ノ限ニ
アラス

第三條 從來設ケタル小學校ト新ニ設クル小學校トノ管

理者ヲ異ニスルトキハ從來ノ管理者前條ノ物件ノ外其

取扱ニ屬セシ學齡簿等其他將來國ノ教育事務取扱上必

要ノ書類ヲ速ニ新ニ設クル小學校ノ管理者ニ引渡スヲ

要ス

第四條 新ニ設クル小學校ノ管理者第一條若クハ第二條

ニ依リ引繼タル物件中教授上及生徒管理上等ニ必要ノ

モノハ速ニ之ヲ其學校長若クハ首席教員ニ引渡スモノ

トス

右相達ス

廿五年

甲第二十八號 五月十八日 郡

高知縣高知市ニ係ル所得税法施行細則第七條并ニ第九條ノ件ハ自今收稅長ニ於テ取扱候旨通知越候條右ニ關スル文書ハ直ニ其收稅長ハ發送スヘシ

右相達ス
甲第二十九號 五月廿四日 郡町村及市ノ區役所 署

甲第三十號 五月廿六日 郡町村及市ノ區役所

本年陸軍省令第五號ヲ以テ陸軍召集旅費支出規程被定候ニ付取扱方之義其筋ヨリ通牒有之候條左ノ手續ニ據リ取扱フヘシ(本年甲第三十八號) (參看本年告示第五十八號及第六十二號)
一陸軍召集條例第一様式及第五様式裏面末項記名調印之義ハ直接ニ旅費ヲ支給スル者ノ例ヲ示サシメタルモ

ノニ付旅費支給者變更ノ節ハ新管理者記名調印スヘシ

一陸軍召集旅費支出規程第一條第二項ニ依リ區長ヨリ直稅分署長ニ人別簿送付後該簿ニ係ル異動ヲ生スルトキハ其都度通知スヘシ

一臨時并演習召集ノ節出納官吏ヨリ會計検査院へ提出スヘキ旅費仕拂証憑書ハ左ノ雛形ニ依リ調製シ証明スヘシ

野ハ藍色 金位ハ朱野
 明治 年度 號
 受 拂 計 算 表
 第 四 師 團

三十八

分區出歳
 出歳常經
 費 事 軍

合 計	復習及復習諸費					演習召集旅費	項 目		受 拂 ノ 部	差 引 殘	證 書 紙 數
							事 由	金 部			
								万 千 百 十 圓	金 員		
								十 錢 厘			
								万 千 百 十 圓	金 員		
								十 錢 厘			
								万 千 百 十 圓	金 員		
								十 錢 厘			
								万 千 百 十 圓	金 員		
								十 錢 厘			

右前渡金受拂ノ通相違無之候也
 明治 年 月 日

出納官吏官 氏 名 印

廿五年

三十九

証書紙數何葉

軍演ノ復習諸費

受領証

一金

内譯

郷	里	召集地	里	程	旅	費	氏	名
何府(縣)市(郡區)町(村)	何地(大阪)	何地(大阪)	何	里	金何圓何拾錢	豫備役	何之某	何之某
全	何地(姫路)	全	全	全	同	同	何之某	何之某

*何月何日何兵定時演習召集ニ付旅費支給如本文

右仕拂相違無之候也

年 月 日

何府(縣)市島司郡長(郡警署記) 直間稅分署長 何 之 某 (自印)

備考

一本証ハ一冊ニ袋綴トナシ表紙ハ別紙之通記載シ裏面

ニ契印(自印)ヲ押捺スベシ

二本証中*印ハ朱書ヲ示スモノナリ

*臨時歳出科目

受領証

一金

内譯

郷	里	召集地	旅	計	氏	名
何府(縣)市(郡區)町(村)	何地(大阪)	何地(大阪)	瀛車料 何十哩 船舶料 何十哩 車馬料 何拾錢 日當 何拾錢 日當 何拾錢 日當 金何圓何拾錢	豫備役	何之某	何之某

廿五年

同
何拾錢同
何拾錢何圓金何圓何拾錢
豫備兵役
何之某印

何月何日臨時召集ニ付旅費支給如本文

右仕拂相違無之候也

年 月 日

何府(縣)市(島司)(郡長^{若ク}書記)直間稅分署長何之某

自印

備考

- 一 陸軍給與令第三十七表ニヨリ准士官以上ハ氏名ノ肩書ニ官等ヲ記入スベシ
- 二 証書ノ編冊方ハ演習召集旅費ニ同シト雖モ其表紙ニ記載スベキ名稱ハ科目未定ニ付臨時制定ノ者ヲ記スベシ受拂計算表及本証ノ歳出科目亦全シ

三 本証印 * 印ハ朱書ヲ示スモノナリ

四 用紙ハ總テ半紙野ヲ用ユベシ

証

一金

* 何年何月何日兵豫備役兵定時演習召集旅費(臨時召集旅費)宛トシテ彙ニ金何圓現金前受ノ處實費金何圓支拂差引殘金如本文

右相納候也

年 月 日

何府(縣)市(島司)(郡長^{若ク}書記)直間稅分署長何之某

自印

備考

- 一 * 印ハ朱書トス

廿五年

右相達ス

甲第三十一號五月三十一日 愛宕、葛野、乙訓、紀伊、宇治、久世、ノ各郡及町村

明治廿四年十二月十二日 當府甲第五十二號達ヲ廢止ス

右相達ス (淀川流域内山林作業願伺ノ件)

甲第三十二號三月六日 郡町村及市ノ區役所

町村役場ニ於テ(京都市ハ)區役所試堀又ハ採堀ヲ出願シタル届書ヲ

鑛業人ヨリ受理シタル申付ハ直チニ試堀又ハ採堀ノ事業ニ

付公益ニ害アルヤ否ヤヲ調査シ三日以内ニ意見ヲ當廳ニ

具申スヘシ

右相達ス

甲第三十三號六月十五日 郡町村及市ノ區役所

明治廿三年二月本府甲第十二號中減縮スルコトヲ得」ノ下ニ

「又工兵トシテ徵集スル者ノ内現ニ鍛工木工ニ從事シ又ハ
嘗テ之ニ從事セシ者船ノ使用ニ慣レタル者及讀書算術ヲ
能クシ手指硬固ナラサル者ヲ選定スル爲メニハ二寸以内
減縮スルコトヲ得」ノ八十三字ヲ追加ス

右相達ス

甲第三十四號六月十五日 郡

陸軍召集旅費支出規程第七條ニ依リ各支金庫ヨリ出納官
吏へ旅費金拂渡ニ所要ノ豫定時間其筋ヨリ通牒有之候條
左ノ通心得ヘシ

但同規程第五條ノ令達ヲ受クルハ召集下令後二十四時
間ト仮定セラル

陸軍臨時召集旅費送達取扱豫定時間表

陸軍臨時召集旅費	支出金庫名	内訳時間		電報通信時間	別仕立配達時間	摘要
		取扱總時間	電報通信時間			
京都府下	京都	十時五分	五分時	五分時	ク	電報
同	紀伊郡 伏見	十時五分	五分時	五分時	ク	同
同	和樂郡 木津	十一時五分	五分時	五分時	一 時	奈良ヨリ別仕立配達
同	天田郡福知山	十時十分	十分時	十分時	ク	電報
同	中郡 峰山	十二時十分	十分時	十分時	二 時	岩瀧ヨリ別仕立配達
同	與謝郡 宮津	十時十分	十分時	十分時	ク	電報
同	何鹿郡 綾部	十二時十分	十分時	十分時	二 時	福知山ヨリ別仕立配達
同	加佐郡 舞鶴	十時十分	十分時	十分時	ク	電報
同	船井郡 園部	十時十分	十分時	十分時	ク	同

同	南桑田郡龜岡	十二時四十分	十分時	十分時	二時三十分	園部ヨリ別仕立配達
同	北桑田郡周山	十三時四十分	十分時	十分時	三時三十分	同

備考

一本表總時間ハ請求書ヲ受付ケタルキヨリ出納官吏へ旅費金送達シ得ル迄ノ計算ニシテ内譯時間ノ外左ノ時間ヲ加算ス

- 仕拂命令發行時間 五 時
- 調定及金庫へ送付時間 二 時
- 大阪本金庫ヨリ電信局へ頼信取扱時間 二 時
- 電信局ニ於テ受付及着信送達取扱時間 一 時

右相違ス

廿五年

甲第三十五號 十七日 町村及市ノ區役所

本年三月府令第十四號第一項第五項ニ該當スル神官ヲ撰
舉候節家系証明書ニ與印ヲ請フ時ハ証明人ノ實否取調與
書調印スヘシ

右相達ス

甲第三十六號 十七日 愛宕、葛野、紀伊、南桑田、
船井、天田、加佐、與謝 各郡 與謝郡加悦村役場
全 岩瀧村役場

警報揭示時間ハ是迄四十八時ニ有之候處今般中央氣象臺
ニ於テ二十四時間ト更定シ其旨告示相成候條自今警報取
扱手續條中四十八時間トアルハ總テ二十四時間ト更定ス
右相達ス

甲第三十七號 十七日 各郡町村 啓

甲第三十八號 廿二日 郡町村及市ノ區役所

本年五月本府甲第三十號様式中左ノ通追加ス

受領證 演習召集 備考一項ノ次ニ左項ヲ加フ

本証ハ大隊區司令部ヨリ送付スル豫備役演習召集旅費人
別簿ニ基キ調製スルモノトス

受領證 召集備考 四項ヲ削リ次ニ左ノ兩項ヲ加フ

四 本証ハ規程第一條ニヨリ郡長ニ於テ旅費概算表調製
スルトキ同時ニ左ノ如ク區分シ合金及氏名ノ左書ハ
記載セス余白 冊員スルトキ加
書ノ用ニ供ス ナ存シ調製シ置キ支給濟
之ヲ記入スルモノトス又減員或ハ事故不應者アルト
キハ其畫ヲ朱ニテ抹殺シ之ニ証印シ其事由ヲ欄外上
部ニ摘記スルモノトス

第一充員召集人員

後備軍召集人員「將校下士」「兵卒」ニ分チ二冊トス

近衛師團充員召集人員

支給所ヲ特設シタル郡ニ在テハ其區域ニ從ヒ亦

各別ニ之ヲ分ツモノトス

五 直稅分署長ハ規程第一條第二項ニヨリ區長ヨリ受ク

ル人別簿ニ基キ第四項ニ準シ調製スルモノトス

各様式中左ノ如ク追加ス

受拂計算書様式欄外右方上部ニ「甲様式」以下順次ニ乙、丙、丁、

戊、様式ノ三字其下部ニ「用紙半紙表紙ハ半紙」ヲ加フ

右相達ス

甲第三十九號廿九日 郡町村及市ノ區役所

明治廿三年六月本府甲第二十七號ヲ以テ豫備役後備役下士

兵卒并歸休兵臨時召集途中ニ於テ旅費缺乏ノ者有之節繰替支給之義達置候處本年陸軍召集旅費支出規程被定候ニ付左ノ通政ム

第一項 豫備役後備役下士兵卒并ニ歸休兵臨時召集途中

川留雪支若クハ傷痍疾病等ニヨリ滞在或ハ他道迂回ノ

爲メ指定ノ地ニ到リ難キ者アルトキハ其地所在郡市區

役所又ハ町村役場ニ於テ明治廿三年三月勅令第六十七

號陸軍給與令第七十六條第三十七表ニ據リ旅費ヲ繰替

支給シ速ニ發途セシムルモノトス

第二項 第一項ノ旅費ヲ繰替支給シタルトキハ本人ノ受

領証ヲ徴シ川留雪支等ハ郡區役所又ハ町村役場ニ於テ

証明書ヲ作り傷痍疾病ハ軍醫或ハ地方醫師ノ診斷書

二十三年四月陸軍省令第十號陸軍給ナ之ニ添付シ本人所持ノ
 與令細則第九項第廿二條第一項參看
 召集令狀裏面ニ記載シアル出納官吏ニ請求スルモノトス
 第三項 第二項ノ請求ヲ受ケタル出納官吏ハ其繰替金ヲ
 前受ケ金ノ殘金ヨリ支拂ヒ若シ殘金ナキトキハ連ニ當
 師團司令部ニ追受ヲ要求スルモノトス
 繰替支給ニ係ル證書ハ本府甲第三十號書式ニ準シ出納
 官吏ニ於テ與書証印シ同書式ノ証憑書類ト共ニ整理ス
 ルモノトス

右相達ス

甲第四十號 四月 郡 署

甲第四十一號 四月 郡 署

甲第四十二號 四月 町村及市ノ區役所

町村役場ニ於テ(區都市)砂鑛採取ヲ出願シタル届書ヲ鑛
 業人ヨリ受理シタルキハ直ニ採取ノ事業ニ付公益ニ害ア
 ルヤ否ヤヲ調査シ三日以内ニ意見ヲ當廳ニ具申スヘシ
 右相達ス

甲第四十三號 八月 郡

明治廿二年當廳甲第六十四號達別冊之通改正ス

右相達ス

土木工事請負取扱概則

第一條 土木事業ノ請負法ヲ分テ左ノ三種トシ凡テ規約

ヲ以テ取扱フヘシ

第一 一般入札

第二 指名入札

第三 特選

第二條 工事及ヒ之ニ附帶スル物品購入等ノ請負ハ公告
 シテ一般ノ入札ニ附スルヲ通例トシ其種類ニヨリ又ハ
 至急ヲ要スル場合其他豫算額百圓以下ノ請負ハ時宜ニ
 ユリ三名以上ヲ指名シテ入札セシメ尙其必要アルトキ
 ハ特選請負ニ付スルヲアルヘシ最モ凡テ例外ノ請負ニ
 付セントスルトキハ常置委員ヘ本件諮問案ノ但書ニ其
 事由ヲ付記スルモノトス

但豫算金高拾圓未滿ノ工事又ハ物品購入ニ付テハ請
 負規約ニヨラス簡便ノ取扱ヒヲナスモノトス

第三條 入札公告ノ方法ハ其開札迄ニ相當ノ間合ヲ見積
 リ新聞紙及便宜ノ場所ニ揭示スヘシ

但新聞紙ノ公告ハ通常一新聞ヘ三日間トシ其經費ノ
 稍ヤ多額ナルモノ其他必用ノ場合ハ他ノ新聞ヘモ相
 當ノ日數間廣告スヘシ
 廣告凡例

入札廣告

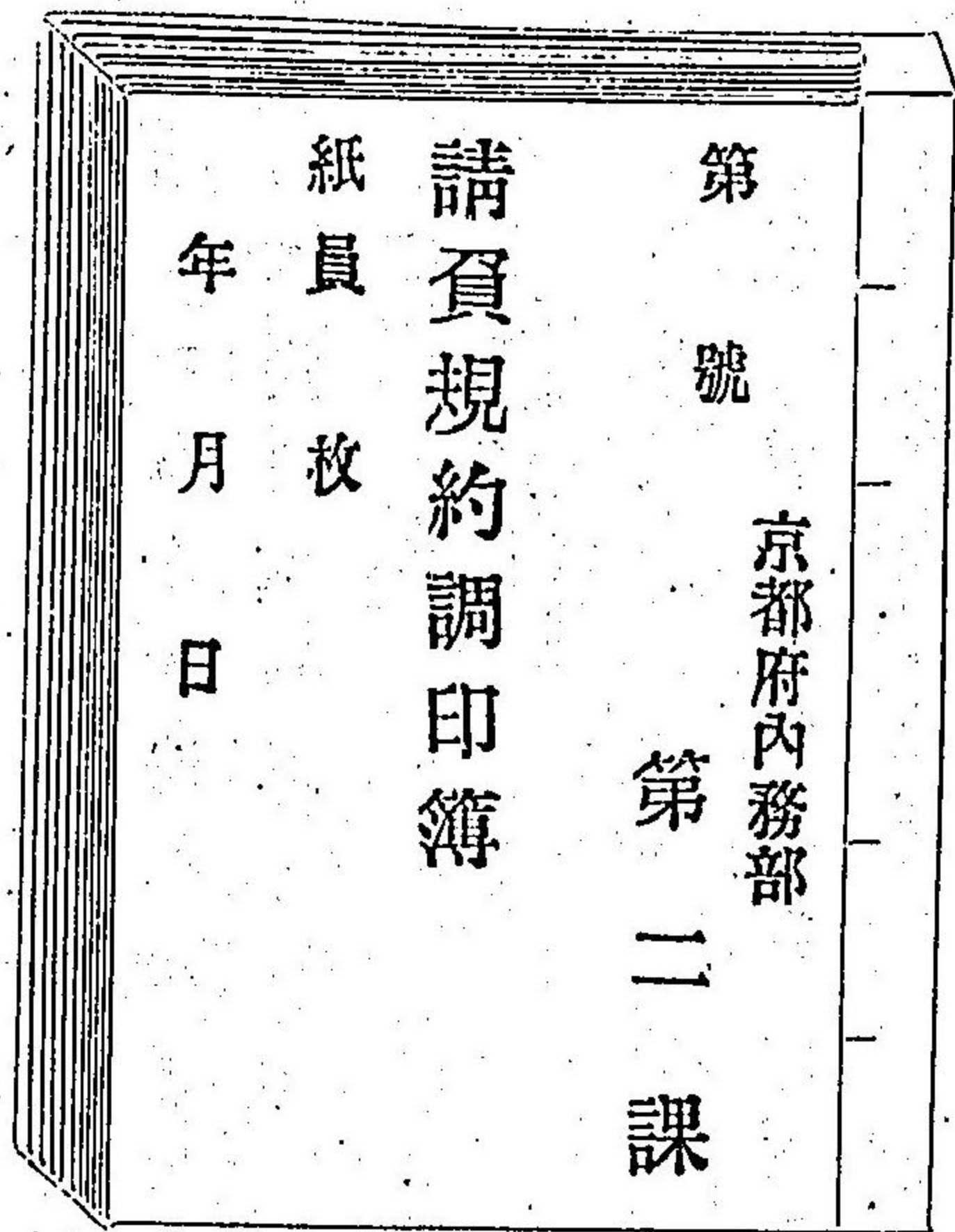
一 何街道 何郡 何村 町 地内 道路 橋梁 堤防 等
 右入札請負望ミノ者ハ府廳受付所(又ハ某所)ニ就キ請負規約及工事設
 計書熟閱該帳ヘ記名調印ノ上現場ト對照何月何日何時限リ何所ニ有之
 入札函(投票スヘシ)
 但何月何日何時入札人面前ニ於テ開札ス

京都府内務部

第二課

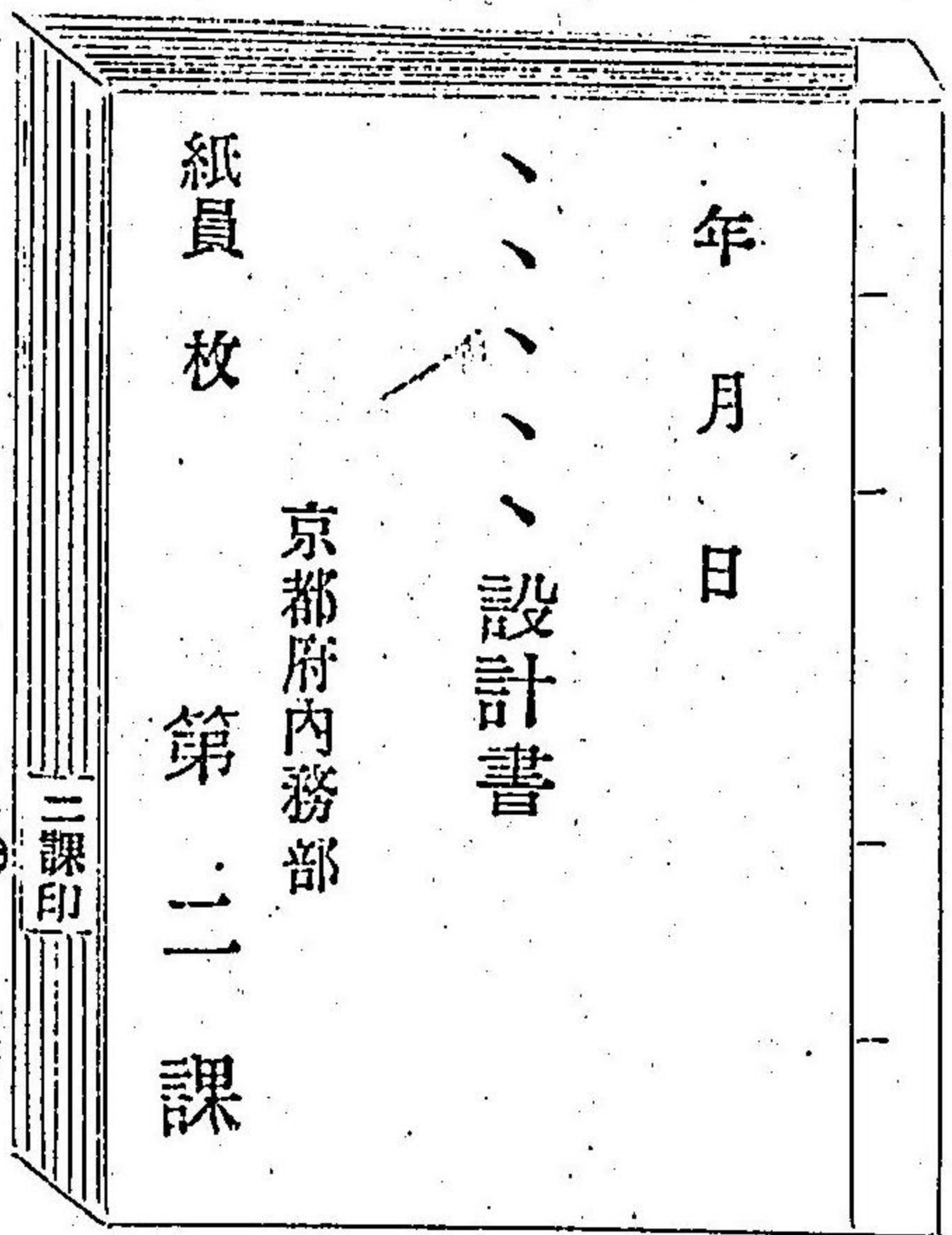
年月日

第四條 請負人ヲラントスルモノハ其最初ニ該規約了知
 ノ爲メ請負規約調印簿へ記名調印セシメ且入札毎ニ其
 設計書ノ了知ヲ証スルカ爲メ該書へ記名調印ヲナサシ
 ム其仕方左ノ如シ



(規約調印簿へ餘紙ヲ存シ置キ追々ニ記入セシム其與
 書左ノ如シ)
 右當御應請負規約了知候也

何府縣何市區町何番地(或ハ何番戶)
 (寄出)寄留人ハ本籍ヲモ併記ス
 何 某 印



設計書奥書左ノ如シ

右御設計了知候也

肩書前同斷

何 某 印

第五條 一般入札及指名入札中其低札ノ者ヲ官ヨリ取消

又ハ本人ヨリ取消ヲ求メ或ハ請負解止ノ場合ニ於テハ

順次低札ヲ取用シテ請負ヲ定ムルモノトス

但其次番札ニ當ル價格不當ナリト視認ル場合ニ於テ

ハ更ニ入札又ハ特撰等ノ手續ヲ行フヘシ

第六條 請負ノ取極メヲ通知スルヲ及ヒ内譯明細書差出

期限ヲ本人ニ通知スルニ書面ヲ以テスルキ郵便ハ書留

ニナシ直便ナルトキハ受取証ヲ取り本人へ面達ノ場合

ハ受書ヲ取ルヘシ

但第七條ニヨリ府廳外ノ各廳等へ保証金ヲ差出サシ

ムル場合ハ其納所ヲ本條ト併セテ通達シ且其廳へモ

豫報スヘシ

第七條 請負ノ保証金ハ府廳直管ノ請負ニ係ルモノト雖モ違隔ノ地ニ於テハ最寄ノ各廳等ニ保管ヲ托シ請負證書ハ府廳ヘ領置ス

第八條 他人所有之公債証書又ハ預金証書(何時ニテモ所有シタルモノ記載)ヲ以テ保証金ニ充テントスルモノハ其權利者ヨリ使用方承諾ノ証書ヲ添付セシム公債証書ノ價格ハ當廳地方稅爲替方ニ於テスル抵當ニ依準ス

第九條 內務部第二課ニ管スル入札保証金ハ同部第四課ニ於テ領收ノ取扱ヒヲナスモノトス
但各郡ニ於テスル場合ハ郡衙ノ收支係ヘ本條ノ取扱ヒヲ委托スルモノトス

第十條 工事ノ竣成購入品ノ納了期限ハ其設計書又ハ品

目書ノ表紙ヘ豫示スヘシ

第十一條 請負規約ニ抵觸シテ其入札ヲ取消シ又ハ請負ヲ解止セントスルキノ立案ハ關係ノ各部課迴議ノ上知事ノ裁定ヲ請フヘキモノトス

請負規約

第一條 此規約ハ各般工事及之ニ付帶スル物品購入等ノ請負ニ施用スルモノトス

第二條 請負人ヲラント欲スルモノハ此規約書ノ與ニ記名調印ノ上左ノ書式ニ倣ヒ先ツ届書ヲ差出スヘシ
但會社組合等ニテ請負ヲ欲スルトキハ其社長頭取等ノ姓名ヲ以テ届出ツヘシ

御届書

何府縣何市區町何郡町村大字何番地(或ハ何番月)
(寄留) (寄留人ハ其本籍ヲ併記ス)

一職業 何々

何 某

印鑑印(實印)

右請負規約第二條ニヨリ御届申上候也

年月日

右

何 某 印

年 齡

府知事宛

右戸籍(寄留人ハ戸籍)印影相違無之候也

某區役所
某町村役場

第三條 第二條ニヨリ届出ノ後移轉シ又ハ印影ヲ改ムル
トキハ更ニ同式ノ届書ヲ要ス

第四條 入札書式ハ左ノ通りトス

入札書

一金何程^①

但何々修繕、建築、何品、調達、金高、

右請負規約并工事設計書現場(或ハ品目書見本)熟
知ノ上入札候也

肩書前同斷

年月日

入札人 何 某 印

府知事宛

第五條 公告シテ競争ニ付シタル入札ハ各自入札金高二十分一以上ノ金額ヲ入札保証金トシテ開札ノ際差出スヘシ

第六條 落札者ハ請負金額ノ十分一以上ノ金額ヲ請負保証金トシテ請負證書ニ添へ差出スモノトス
但金高ノ半額ハ該入札保証金ニ差繼キ納付スルコトヲ得

第七條 指名入札及特選ノ請負ハ請負證書ト同時ニ請負金高十分一以上ニ當ル金額ヲ保証金トシテ差出スモノトス

但金高百圓以下ノモノハ保証金ヲ要セス

第八條 入札保証金及請負保証金ハ公債證書又ハ府廳爲

替方各銀行預金証書ヲ以テ代用スルモ妨ケナシ
保証金納書凡例左ノ如シ

保証金納書

何々(名稱)ハ設計書表題ノ通(入札)代金何程ニ對スル保証トシテ

一金何圓

或ハ(但別紙何銀行預金証書ヲ以テ代用ス)

一何公債証書某號何番額面金何圓(公債証書ノ價格ハ當廳ノ所定ニヨル)

(若シ數通ナルトキハ此行ニハ合額面金高ヲ記シ左ノ但書ヲ加フ)

但別紙仕譯書ノ通り

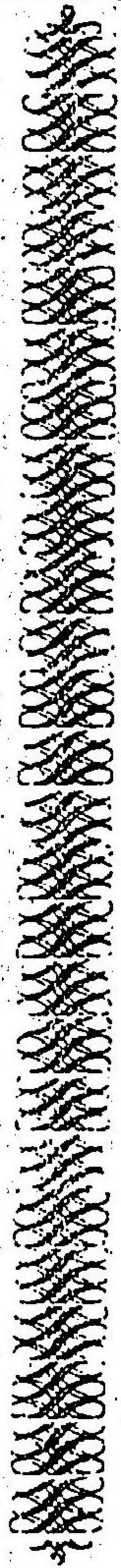
右當御應請負規約第(五)條ニヨリ(入札)保証金トシ
テ相納候也

肩書前全斷

年月日

何某印

府知事宛



前紙ト同文ニ付畧ス

番號

右領置ス

但本証若シ紛失等ニテ本文、下戻ノ節
差出シ難キトキハ証人ヲ立テ其趣届出更ニ請
取証書ヲ以テ之レカ下戻ヲ請フヲ得
明治年月日
京都府内務部第四課

公債証書任譯書凡例

保証金代納公債証書任譯書

一何公債額面計金何圓

此証書何枚

内

何圓証

某號何番

(内譯ハ此例ニ倣ヒ一種類毎ニ一項ニ掲ク)

右ハ何々請負金高何圓ニ對スル(請負)保証金ノ代リ
トシテ相納候也

肩書前同斷

年月日

請負人 何 某 印

府知事宛

第九條 左ノ場合ニ於テハ其入札ヲ取消スヘシ

- 第一 入札ノ人物ヲ信認スル能ハサルトキ
- 第二 入札代價不相當ト視做スモノ
- 第三 入札ノ文字不明瞭ト視做スモノ
- 第四 入札書ニ押印ナキモノ
- 第五 請負規約及設計書ニ記名調印セサルモノ

第六 第十三條内譯明細書ヲ不相當ト視認ルモノ

第十條 最低價ニ當ル入札二名以上同額ナルトキハ抽籤
ヲ以テ當否ヲ定ム

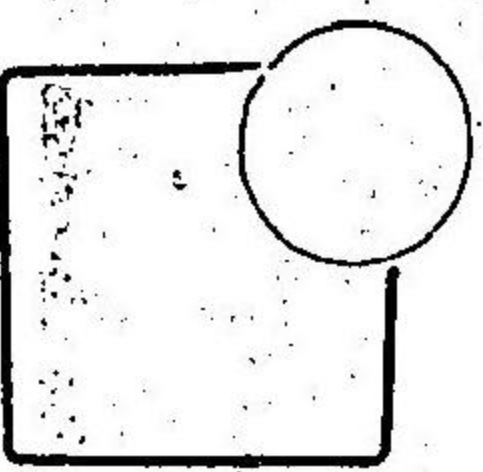
第十一條 最低價ニ當ル入札人ノ保証金ハ開札ノトキ直
チニ之ヲ納メ置カシム

但必要ト視認ルノ場合ニ於テハ第二低價ニ當ル入札
人ノ保証金モ併セテ納メ置カシメ請負人確定ノ上其
一ヲ返付ス若シ第二低札全額ノモノ二名以上アルト
キハ前條ノ例ニヨル

第十二條 左ノ場合ニ於テハ其入札ヲ取消シ爾後滿壹ケ
年間請負ノ入札ニ加ヘス且ツ保証金ヲ差出タル場合ハ
該金(請負高ノ二十分)ヲ以テ當應ノ所得トス

- 第一 最低札ノモノ其保証金ヲ納メ入レサルモノ
 - 第二 開札ノトキ保証金ヲ差出サ、ルモノ
 - 第三 入札投函後種々ノ事由ニヨリ其取消引換又ハ金員ノ變更ヲ求ムルトキ
 - 第四 内譯明細書ヲ其指定シタル日限ニ出サ、ルトキ
 - 第五 請負証書及請負保証金ヲ其期限ニ出サ、ルトキ
- 第十三條 開札ノ上其最低價ノ入札人へハ先ツ設計書ニ倣ヒ内譯明細書ヲ日限ヲ定メ出サシメ調査ノ上不相當ナキヲ認メ始メテ落札ヲ請負人ニ通知スヘシ請負人ハ此通知ヨリ五日以内ニ左ノ証書ヲ出スヘシ

金高相當印紙貼用
用紙美濃紙



請負証書

一金何程

請負高

右ハ今般何々請負御契約申上候就テハ當御廳請負規約及ヒ工事設計書(品目)ノ通確守シ何年何月何日ヨリ着手何月何日迄ニ無相違竣成(皆納)可致若シ本人病氣其他ノ事故ニヨリ請負事業ニ差支ヲ生スルトキハ凡テ保証人ニ引受義務完了可致然レトモ尙請負規約ニ相背キタル廉アリト御認定ノ上ハ直チニ第十五條ニヨリ此請負ヲ御解止保証金ハ當御廳

ノ御所得ト相成ハ勿論請負代價ノ義モ同條ノ通御
減却相成毫モ異存無之候依テ契約証書如件

肩書前同斷

年月日

請負人 何 某 印

京都府何郡區町村何番戶

保証人 何 某 印

當府ノ本籍ニアラス及請負停止期
限中ノモノハ保証人タルヲ得ス

府知事宛

第十四條 開札ノ際既ニ差出シタル現金ヲ請負契約ノ際
更ニ第八條ノ如クスルヲ得

第十五條 請負契約ノ後請負人自カラ其契約ヲ解カント

欲シ又ハ當廳ニ於テ其請負ヲ果タス能ハスト推認シ其
他不正之所業アリト認知スルトキハ本人ノ諾否ニ抱ハ
ラス該契約ヲ解放シ爾後滿三ヶ年間請負ノ入札ニ加ヘ
ス保証金ハ請負金高ノ十分ノ一ヲ當廳ノ所得トシ請負
代金ハ當廳ニ於テ認定スル所ノ工事ノ進功物品ノ納高
ニ應シ其價格價額ハ請負人ヨリ差出シタル内
譯明細書ニ依ル十分ノ七以内ノ金額
ヲ交附シテ拂濟トス

第十六條 契約日限ノ延期ヲ請フトキハ違約金トシテ一
日ニ付請負金高千分ノ五ヲ納メシメ當廳ノ見込ヲ以テ
相當ノ日限ヲ許スヲアルヘシ

但天災地變等防制シ難キ原因ニヨリ特ニ延期ヲ許シ
タルモノハ此限リニアラス

前項違約金ヲ別ニ納メサルトキハ工費之内ヨリ引去リ
猶不足スルトキハ請負保証金ノ内ヨリ引去リ之ヲ償ハ
シムルモノトス

第十七條 凡ソ工事ノ竣成又ハ物品皆納ノ認定ハ主任官
ヨリ証符ヲ渡スヘシ依テ其以前ニ生スル損失ハ總テ請
負人ノ負擔トス

但非常ノ災變ニ罹リ本人防禦ノ力ニ及ハサリ得テ
當應ニ於テ認定スルトキハ臨時何分ノ詮議スルコト
ルヘシ

第十八條 請負契約中ノ工事及物品トモ都合ニヨリ増減
ヲ要スルトキハ請負人ヨリ差出シタル内譯明細書ノ代
價ノ割合ヲ以テ計算スヘシ

第十九條 請負代價ハ請求ニヨリ當應ニ於テ認定スル所
ノ工事ノ進功又ハ現納品ノ數量ニ應シ其代價十分ノ七
ヲ越サレル金額ノ内借ヲ許シ其殘金及請負保証金ハ第
十七條ニ記スル証符渡濟ノ上ニアラサレハ交付セス

第二十條 普通工事時限ハ日出ヨリ日沒迄ト定メ夜業ハ
主任官ヨリ差圖スル場合ニ限ル尤モ施業時間ハ請負人
又ハ部理代人ノ中必ス現場ニ詰切ルヘシ
但シ部理代人ハ本人ト連署シ主任官へ届出認許ヲ請
フヘシ

第二十一條 指名入札ノ請負ニ於テハ此規約書第九條ノ
第一項及第十一條ヲ除キ特撰請負ニアツテハ凡テ入札
上ニ關スル手續ヲ除キ其他ハ一切此規約ヲ適用ス

甲第四十四號 一九〇〇年 郡

明治廿二年一月當廳甲第三號達水害表別紙書式ノ通改正

右相達ス

報		年		家畜	死	負傷	死	名	稱	員數	損失價額
耕	地	建	物								
生毛ノ損耗	同	年季荒	同	流亡及崩潰	同	破損及浸水	同	流亡	段別		
				死	亡						

何川流域(何或川)水害(某又某國何郡)表

(明治何年)

何郡役所

廿五年

波止場 破損 延長	橋梁		道路 毀損 延長	用悪水路 破損 同	川除 破損 箇所	堤防		雜種地			
	毀損	流失 箇所				缺所	切所 延長	其他 同	森林山野地 同	宅地 同	

要提	損耗 代價 通計	船舶流失沈没				雜種 流 損
		西洋形		日本形		
		風帆船	蒸氣船	五十石以上	五十石以下	

一 河川ノ水害ハ假令ハ一流域内ノ幹支派數回害ニ罹ルモ
 一 箇年ヲ通シテ一流域毎ニ一表ヲ製スヘシ
 但海嘯ノ損害ハ別表ニ製スヘシ

- 一 損失價額ハ見積リ價額ヲ記入スヘシ
- 一 道路堤防等ノ如キハ再築費ヲ記入スヘシ
- 一 員數ノ欄ニ建物ハ(軒)段別ハ(町)延長ハ(間)ヲ一位ニ定メ船
船ハ艘數ヲ掲クヘシ
- 一 家畜ノ内見積リ代價ヲ得カタキモノハ本表ニ記入ニ及
ハス
- 一 鹽田ノ流亡年季荒ハ雜種地ノ部其他ノ欄ニ通算記入ス
ヘシ
- 一 開及樋ノ破損ハ用惡水路破損ノ欄ニ通算記入スヘシ
- 一 提要ノ欄ニ第一ニ洪水ノ月日、第二ニ損害ヲ來タセシ幹
川名竝ニ支派川名、第三ニ罹害ノ國郡名竝ニ町村大字數、
第四ニ被害ノ景況ヲ記載スヘシ

一本表差出期限ハ二月廿八日トス

甲第四十五號九月三日 郡町村及市ノ區役所 署

甲第四十六號九月九日 郡町村及市ノ區役所 署

甲第四十七號九月廿一日 郡町村及水利組合管理者

明治十九年三月當廳乙第六十一號達每年度町村土木費調
書各町村役場及水利組合管理者ヨリ所轄郡役所へ差出シ
期日五月二十日ヲ七月二十日ニ郡役所ヨリ當廳へ發送期
日五月三十一日ヲ七月三十一日ニ及雛形中内譯書式別紙
之通改正ス

但水利組合費及測量費其他雜費且協議費ニ對スル調書
ハ廿四年度分ヨリ要用ニ付各町村役場及水利組合管理
者ニ於テ取調本年十月廿五日マテニ所轄郡役所へ差出

シ郡役所ニ於テハ取纏々之上同月三十一日限當廳へ發
送スヘシ

右相達ス

雜形

明治何年度土木費調書

但年度ハ其年四月ヨリ翌年三月中ヲ云

河川新築變換之部

但新築トハ新規開川ヲ云變換トハ川換等ヲ云

(幹川) (幹川何川) (幹川何川支何) (開川) 何國何郡何町何字地内

但幾川アルモ一川毎ニ各通ヲ以差出スヘシ

一金

金

入 費 高

町村費又ハ水利
組合費

工 事 費

測量費及其他雜費

寄 付 金

工 事 費

測量費及其他雜費

協 議 費

工 事 費

測量費及其他雜費

是ハ町村費ニ屬スヘキ工事ニシテ舊慣ノ協議費若

クハ篤志者ノ自費又ハ馬車鐵道會社ノ出金等ニテ町

村費ニ收入セサル金額ヲ以施行シタルモノヲ記入ス

右之通ニ有之候也

廿五年

年月日

府知事宛

何郡何町長 又ハ水利組合
管理者 名印

以下拾七葉ノ雜形皆之レニ準ス

甲第四十八號 九廿一日 郡及市ノ區役所 署

甲第四十九號 九三十日 郡町村及市ノ區役所

壯丁名簿職業區畫ニ壯丁ノ現業ヲ記スヘキハ勿論ナルニ

實際區町村長ノ調査茲ニ及ハスシテ多クハ戶主ノ職業ヲ

記載シ爲メニ撰兵上支障不尠旨其筋ヨリ照會有之候ニ付

將來一層綿密ニ調製シ不都合無之様注意スヘシ

右相達ス

甲第五十號 四十日 郡及市ノ區役所 署

甲第五十一號 七十日 郡町村及市ノ區役所 署

甲第五十二號 八十日 郡 署

甲第五十三號 廿二日 郡町村及市ノ區役所

明治十六年一月太政官第一號公布ニヨリ賞與スヘキモノ

ハ自今一ヶ月毎ニ取纏メ 町村ノ分ハ郡
役所ヲ經由 左ノ書式ニ照準シ學

校道路橋梁等其費金ヲ異ニスルモノハ各別紙ニ記載シ詳

細具申スヘシ

但明治十七年乙第三十八號達ハ廢止ス

右相達ス

學校 又ハ費出金者取調書

寄附金額物 品箇數(坪數)	價格	學校道路橋梁 等所在地名	費途 <small>又ハ寄附 ノ目的</small>	年月日	本籍 住所	族籍 氏名
〃	〃	何郡(區)町村	〃	〃	〃	華士族(平民) 何 某

廿五年

○	○	○	○	○	○	○	○	○	何町村又ハ(字)中
○	○	○	○	○	○	○	○	○	何會社
○	○	○	○	○	○	○	○	○	何某外何名 總代何某

凡例

- 一記載方ハ金額ノ多數ヨリ順次登記スヘシ
- 一寄附年月日ハ金穀物品ヲ納入セシ年月日ヲ記入シ年賦
又ハ寄附ハ初年ノ月日ト完納ノ年月日ヲ記入スヘシ
- 一勞力ヲ寄附セシ者ハ其延人員ヲ寄附物品ノ欄ニ記入シ
賃金ハ合算シテ價格ノ欄ニ記入スヘシ
- 一地所米穀物品等ヲ寄附ニ充タルハ當時ノ相場ニ依リ之
レカ價格ヲ算出スヘシ

- 一寄留者ハ其住所ノ郡區町村名ヲ本籍住所ノ欄ニ併記ス
ヘシ
- 一事項煩雜ニシテ一行中ニ記載シ尽ス能ハサルモノハ次
行ニ記スルモ妨ナシ
- 一學校ハ其種類例ヘハ小學校中學校或ハ府立市町村立等
ノ區別ヲ記載シ病院モ亦之レニ準ス
- 一學校病院等ヘ金圓ヲ寄附セシモノハ其費途ノ目的ヲ明
記ス例ヘハ建築費書籍購求費等ノ如シ
- 一官等勳位爵アル者ハ族籍ノ下ニ記載スヘシ
- 一寄附者具申ノ際死去セシトハ族籍ノ下ニ故何某相續人
何某ト記載スヘシ
- 一用紙ハ通常美濃野紙ヲ用ユヘシ

甲第五十四號十一月一日郡

明治十四年乙第三十七號達郡長委任條件へ左ノ一項ヲ追

加ス

一 第一百四十一條 狩獵免許願(規則第)ノ事

右相達ス

甲第五十五號十一月二日郡町村及市ノ區役所

署

甲第五十六號十一月五日郡町村及市ノ區役所

署

甲第五十七號十一月六日郡町村及市ノ區役所

署

新兵入營旅費支給ノ件ニ關シ其筋ニ於テ左ノ通定メラル

(本年甲第六十八號ヲ以テ)

一 徵兵令第二十六條ニ依リ寄留地ニ於テ徵集ニ應スル者

入營前原籍へ復歸シタルトキ入營旅費ハ本籍地ヨリノ

額ヲ本籍所管ノ府縣ニ於テ支給ス

一 徵兵事務條例第五十五條ニ當ル寄留者中其寄留地ヨリ

直ニ入營ノ願ヲ許可セラレタルトキ入營旅費ハ其寄留

地ヨリノ額ヲ本籍所管ノ府縣ニ於テ支給ス

右相達ス

甲第五十八號十二月二日郡

香川縣高松市ニ係ル所得稅事項自今收稅長ヲ以テ通報セ

シムヘキ旨通知越候條右ニ關スル事項ハ直ニ全收稅長

へ通報スヘシ

右相達ス

甲第五十九號十二月六日郡町村及市ノ區役所

署

區役所町村役場ニ於テ保管スル國稅滯納處分剩餘金行旅

廿五年

死亡人所持金漂流物公賣代等ノ現金ハ廿三年勅令第二號ニ據リ預金局ニ寄托スヘキモノニ付同年大藏省令第八號ニ準シ取扱フヘシ

但大藏省令第八號書式中何應印トアルハ市區役所町村役場印官氏名印トアルハ市區長町村長印ト心得ヘシ

右相達ス

甲第六十號九月十二日郡及市ノ區役所 署

甲第六十一號十二月十四日郡町村

町村事務報告事項左ノ通相定候條自今町村長ヨリ郡長ヘハ其事件ノ生シタル即日又郡長ヨリ府廳ヘハ其受付タル日ヨリ三日以内郡參事會代ヲ議決セシ事項ニ報告スヘシ及ヒ異常ノ事件ハ即日トス

但明治十七年當府乙第二百八十號達町村會議事報告方同廿二年

甲第三十四號達町村會開閉屆出方廢止ス又報告用紙ハ總テ半紙

野紙ヲ用フヘシ

右相達ス

町村長ヨリ郡長ヘ報告スヘキ事項

- 一 町村會區會議員選舉ノ結果及其選舉錄謄本
- 二 町村會區會開閉事項及其議事錄謄本
- 三 町村會區會ニ於テセシ決議書認定書及處分書寫但水利組合會ヲ設ケタル町村ニ於テハ本項ニ準シ管理者ヨリ報告スヘシ
- 四 町村會區會議員ノ退任辭職
- 五 町村吏員撰擧ノ結果
- 六 町村長助役及收入役ノ就職退任但退任ノ場合ハ其理

由

- 七 町村長助役收入役事務引繼ノ件
- 八 町村吏員ノ懲戒處分
- 九 町村會區會議決ノ執行停止及再議ニ附シタル事項其理由
- 十 町村長ニ於テセシテ願ノ裁決
- 十一 町村事務報告及財産明細表寫
- 十二 町村稅滯納處分ニ係ル人員金額賦課稅目等
- 十三 前各項ノ外町村内又ハ役場内ニ於ケル異常重大ノ事件
- 郡長ヨリ府廳へ報告スヘキ事項
- 一 町村會議員選舉ノ結果

三 町村會議員ノ退任辭職

三 町村會區會ニ於テ議決セシモノ、内左ノ事項

- 一 町村歲入出豫算、并ニ豫算變更、追加ノ件
- 一 町村歲入出決算報告
- 一 營造物規則、財産處分ニ關スル件
- 一 土地使用法變更ニ關スル件
- 一 町村會議員選舉ノ效力ニ關スル件
- 一 町村公民權ノ特免、停止、及町村費增加處分
- 一 町村内ニ區ヲ設ケ區長及代理者ヲ置キ又ハ之ヲ廢スル件
- 一 常設委員設置廢止ニ關スル件
- 一 給與規程物品購入賣却等諸種ノ規程ニ關スル件

- 四 水利組合會ノ議決
- 五 町村長ヨリ郡長へ報告スヘキ事項ノ内第五項已下各項

六 郡參事會ニ於テ町村會ニ代テ決議セシ事項其理由

甲第六十二號十二月十五日 郡

陸軍部内現金前渡ヲ受ル官吏交替之節事務引繼之際立會
 検査員ハ陸軍省所管經費整理手續ニ依リ當該官衙ノ長官
 其所屬官吏ニ命スル義ニ候處陸軍召集旅費出納官吏交替
 ノ際立會検査員ハ特ニ師團ヨリ出張セシメサル旨其筋ヨ
 リ通牒有之候ニ付爾後所屬官吏ヲ以テ出張爲致候條左記
 ノ通取扱フヘシ

一出納官吏交替ノ際立會検査員出張セシメ帳簿金櫃等

検査爲致候ニ付本年九月十二日以後去ル廿三年七月
 本府甲第三十四號現金前渡取扱規則第三號第四號書
 式ニ據リ現金出納簿現金出納内譯簿等調製シ記載ス
 へシ

一出納官吏異動有之節ハ速ニ當府へ届出ヘシ

一出納官吏交替ノ際廿三年大藏省訓令第五十四號ニ依

リ第三號書式ノ書類調製スヘシ

但引繼濟ノ上ハ其年月日本府へ届出ツヘシ

一召集旅費支出規程第九條ニ依リ第四師團軍吏へ送付

シタル計算書ハ扣ヲ調製シ置クヘシ

右相達ス

甲第六十三號十二月十五日 郡町村及市ノ區役所

廿五年

海軍々人結婚願出手續其筋ニ於テ左ノ通定メラル

海軍々人結婚願出手續

第一條 海軍々人結婚條例第一條ニ依リ結婚ノ許可ヲ願ハントスル者ハ左ノ書式ニ依リ將官並相當官ハ直ニ海軍大臣ニ差出シ上長官士官及准士官ハ所管長官ヲ經テ海軍大臣ニ差出シ下士卒ハ所轄長ヲ經テ所管長官ニ差出スヘシ

結婚願

何府縣何國何郡市區何町村何番地
華士族平民
何某何女(姉)(妹)

某

何年何月何日生
何年何月何年何ヶ月

右記載ノ者ト結婚致度候間御許可被下度別紙身

元證書相添此段奉願候也

年月日

官(職) 姓 名 印

海軍大臣(所管長官)宛

前書ノ趣不都合無之ニ付御許可相成度候也

年月日

所管長官(所轄長) 姓 名 印

身元證書

何府縣何國何郡市區何町村何番地
華士族平民
何某何女(姉)(妹)

某

何年何月何日生
何年何月何年何ヶ月

右ハ行狀端正ニシテ年齡前書ノ通相違無之候此
段保證候也

年月日

何府縣何郡市區何町村長 姓

名 印

第二條 各軍人ノ結婚ハ條例ニ依リ許可ヲ得タル後普通
人事ノ手續ヲ爲スモノトス

第三條

結婚整ヒタルトキハ其旨速ニ准士官以上ハ海軍
大臣ニ届出以下士卒ハ所管長官ニ届出ヘシ

右相達ス

甲第六十四號 十二月十五日 郡及市ノ區役所 署

甲第六十五號 十二月十九日 郡町村及市ノ區役所

明治廿三年十一月當府甲第五十四號徵發事務取扱手續中

左ノ項加除ス

一 第十二條項目第二項ノ(二)第三項第四項ノ(二)第六項
(但書)第十項)刪除ス

一 第三號表備考第二項又ハ合併シタルモ新區域内ノ
人家連接セルモノヲ)廿二字第三項(ニシテ其區域内
ノ人家各部落ニ散在スルモノ)廿一字ヲ刪除シ(ノ)
ノ字ヲ加フ

右相達ス

甲第六十六號 十二月廿二日 郡町村市ノ區役所 學務委員

學事表簿様式更ニ別紙ノ通相定ム自今該様式ニ依リ調製

スヘシ

右相達ス

廿五年

甲號第一式

生徒學籍簿

(用紙總テ美濃紙)

番 號	生徒姓名	生年月		從前ノ 教育	保護者姓名 全住所	全族籍職業	各學年ニ入ルノ年月日				退學年月 日	退學事由	備考
		入學年月	生年月				正科	補習科	第一學年	第二學年			

一此學籍簿ハ各小學校ニ於テ必ス備フヘキモノニシテ男女ヲ區別シテ調製スヘシ

一 番號(入籍順)、生徒姓名、生年月、入學年月日、從前ノ教育、保護者ノ姓名住所族籍職業ハ生徒入籍ノ際之ヲ記入スヘシ

一 族籍ハ華士族平民、職業ハ庶業(官吏、公吏、學者、醫者等ノ類)農工商及勞力(漁樵傭其
他ノ力役者)ノ別ヲ以テ之ヲ記入スヘシ

一 保護者姓名ノ上欄ニハ生徒ニ對スル關係(父母、戶主、後見人ノ類)ヲ附記スヘシ尤父母
及戶主若クハ後見人及戶主ノ兩者保護者タル場合ニハ各其姓名等ヲ記入スルヲ要ス

一 各學年ニ入ルノ年月日ハ生徒ノ其學年ニ入ル毎ニ之ヲ記入スヘシ

一 退學年月日及事由(卒業、轉籍等ノ類)ハ生徒退學ノ際之ヲ記入スヘシ

一 備考ノ欄ニハ生徒ノ性質品行及生徒ノ住所ト保護者ノ住所ト異ナリ或ハ姓名住所ヲ變
更セル等總テ備考ニ供スヘキ事項ヲ記入スヘシ

一 修業年限二ケ年若クハ三ケ年ノ小學校、補習科ヲ設置セサル小學校及補習科專修科ヲ
併置セル小學校ノ學籍簿ハ此様式ニ準シニ調製スヘシ

一 生徒多數ノ學校ニアリテハ便宜いろは別名簿ヲ調製シ搜索ノ便ニ供スヘシ

甲號第二式

明治何年何月何(高等)小學校(正教科
補習科
専修科)第何學級生徒出席簿

百四

擔任教員 職名 姓名印

號 番		生徒姓名	日々出席 生徒數	日々欠席 生徒數	授業 日數	在學 生徒數	出席 生徒數	欠席 生徒數	生徒出 席總數	生徒欠 席總數	日々出 席生徒 平均數	日々欠 席生徒 平均數
一	二											
日	一											
日	二											
日	三											
日	四											
日	五											
日	六											
日	七											
日	八											
日	九											
日	十											
日	十一											
日	十二											
日	十三											
日	十四											
日	十五											
日	十六											
日	十七											
日	十八											
日	十九											
日	二十											
日	廿一											
日	廿二											
日	廿三											
日	廿四											
日	廿五											
日	廿六											
日	廿七											
日	廿八											
日	廿九											
日	三十											
席出 數	席欠 數											

- 一此出席簿ハ各生徒受持教員之ヲ調製シ毎月末學校長(或ハ首席教員)ニ出スヘシ學校長(或ハ首席教員)ハ毎翌月五日迄ニ之ヲ學務委員ニ差出シ其査閲ヲ受クヘシ
- 一番號、生徒姓名ハ生徒ノ席順ニ依リ記入スヘシ
- 一受持教員ハ毎日適宜ノ時間ニ於テ生徒ヲ點檢シテ出席若クハ欠席ノ符合ヲ其日ノ欄内ニ填記スヘシ
- 一出席數欠席數ハ各生徒ニ就テ一月間ノ出席數欠席數ヲ記入シ日々出席生徒數ハ在學生徒日々ノ出席數、日々欠席生徒數ハ在學生徒日々ノ欠席數ヲ合算シテ之ヲ掲グヘシ
- 一授業日數ハ一月間授業シタル日數ヲ記スヘシ
- 一在學生徒數中ニハ仮令一ヶ月間全ク欠席シタル生徒ト雖モ未タ退學セサルモノハ悉ク合算シテ記入スヘシ
- 一出席生徒數ハ在學生徒中一月間ニ出席セシ人員、欠席生徒數ハ一月間全ク欠席セシ人員ヲ掲記スヘシ
- 一生徒出席總數ハ日々出席生徒數ノ一月間ノ總計、生徒欠席總數ハ日々欠席生徒數ノ一月間ノ總計ヲ記スヘシ
- 一日々出席生徒平均數ハ授業日數ヲ以テ生徒出席總數ヲ扣除シタル計數、日々欠席生徒平均數ハ授業日數ヲ以テ生徒欠席總數ヲ扣除シタル計數ヲ記スヘシ

百五

甲號第三式 明治何年何月末何(高等)小學校生徒出席調査表

科	年	在學生徒數			日々出席生徒平均數		
		男	女	總計	男	女	總計
正	第一學年						
	第二學年						
	第三學年						
	第四學年						
	第一學年						
補	第一學年						
	第二學年						

學校長(若クハ首席教員) 姓名 印

科	第三學年	合計					

一 此調査表ハ各小學校ニ於テ生徒出席簿ニ依リテ調製シ該簿ニ添ヘテ每翌月五日迄ニ學務委員ニ差出シ其檢閱ヲ受ケ生徒出席簿ト共ニ釘綴シテ一簿冊トナスヘシ

一 修業年限二ケ年三ケ年ノ小學校、補習科ヲ設置セザル小學校及補習科専修科ヲ併置セ

ル小學校ニ於テハ此様式ニ準シテ之ヲ調製スヘシ

甲號第五式 明治何年何(高等)小學校(正教科 補習科 專修科)年末調查表

職 業 別	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年		合 計	勞 力	商	工	農	庶 業	
	男	女	男	女	男	女	男	女							
	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年								
合計															
日々出席生徒平均數															
日々欠席生徒平均數															
本年中入學生徒數	男														
正教員	男	女	男	女	男	女	男	女							

級 學	徒 生						數	本年 中退 學生 徒數					
	平均		最少		最多			未 卒業	卒 業		女		
	女	男	女	男	女	男			女	男			
創 立 年 月	教 科 目						專 科	本 科					
	隨 意 科		必 修 科		准 教 員			正 教 員		准 教 員		女	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女

廿五年

學校長(若少ハ首席教員)姓名印

一此調査表ハ各小學校ニ於テ調製シ翌年一月十日迄ニ學務委員ニ差出シ其寫ヲ該學校ニ
備フヘシ

一生徒數ハ年末ノ現員ニシテ本年中出席シタル者ヲ算入スヘシ

一日々出席生徒平均數ハ一年間ノ授業日數ヲ以テ該年間生徒出席總數ヲ扣除シタルモノ
ヲ記入スヘシ

一日々欠席生徒平均數ハ一年間ノ授業日數ヲ以テ該年間生徒欠席總數ヲ扣除シタルモノ
ヲ記入スヘシ

一學校長教員ハ總テ年末ノ現員ヲ記スヘシ但學校長及兼任教員ハ其人員ヲ未記スヘシ

一二ヶ年若クハ三ヶ年ノ小學校等ニ於テハ本表ニ準シテ之ヲ調製スヘシ

一單級ノ學校ニ於テハ學級ノ部生徒數ヲ記入スヘシ欄内ヲ適宜ニ變更シテ只男女別生徒
數ノミヲ記スヘシ

乙號第一式 學齡簿

番 號	學 齡 兒 童 姓 名	出生年 月 日		學 齡 ニ 入 ル 年 月	學 齡 ヲ 終 ル 年 月	修 學 不 修 學 歲 別							全 住 所 備 考					
		明治	年			明治	年	明治	年	明治	年	明治		年	明治	年		

一此學齡簿ハ市ノ尋常小學校區及町村町村學校組合若クハ其區ノ學務委員之ヲ掌リ學齡兒
童ニ係ル一切ノ事項ヲ調査スヘキ用ニ供スルモノトス

一學齡簿ヲ初メテ調製スルトキハ戶籍ニ就キ其際ノ學年内學齡ニ在ル兒童全員ヲ取調記
入スヘシ爾後ハ毎年十二月其年ノ學年即チ四月ヨリ翌年三月迄ニ學齡ニ入ル兒童ヲ取

- 調へテ之ヲ記入シ且ツ已ニ學齡ヲ終リタル者等ヲ除去スヘシ
- 一 學年ノ半ニ於テ他ノ市町村村學校組合若クハ其尋常小學區ヨリ已ニ學齡ニ入りタル兒童來住スルトキハ其都度之ヲ學齡簿ニ記入スヘシ尤一月ヨリ三月迄ノ間ハ其學年内ニ學齡ニ入ルヘキ兒童來住スルトキモ同様記入ノ手續ヲナスヘシ
 - 一 番號ハ編入ノ順序ニ依ルヘシ
 - 一 寄留ノ者ハ兒童姓名ノ右肩ニ(寄)ノ字ヲ記スヘシ
 - 一 學齡ニ入り及ヒ學齡ヲ終ル年月ハ兒童ノ生日ヨリ起算シテ六歳一ヶ月ニ至ルヲ學齡ニ入ルノ年月トシ十三歳十二月ニ至ルヲ學齡ヲ終ル年月トシテ之ヲ記入スヘシ
 - 一 修學不修學歲別ノ欄ニハ「就學」「不就學」「何月某小學校ニ入學」「何月尋常若クハ高等小學校卒業」「何月半途退學」「何月他ニ轉籍」「何月死亡」「何月何年何月迄就學猶豫」「何月就學免除」ノ類ヲ其事項取調ノ都度記入スヘシ
 - 一 保護者姓名ノ上欄ニ生徒ニ對スル關係ヲ記載スル等其他族籍職業記入ノ例ハ凡テ學籍簿ニ全シ
 - 一 學齡兒童就學猶豫免除ノ事由等其他必要ナル事項ハ備考欄内ニ記入スヘシ
 - 一 此學齡簿ハ適宜いろは別人名目録ヲ添附シ搜索ノ用ニ供スルヲ便トス
 - 一 學齡ヲ終リタル者轉籍及死亡ノ者等ニ就キテハ其兒童ノ欄ニ朱線ヲ引キ以テ除去ノ標識トナスヘシ

乙號第二式

明治何年何市第何尋常小學區學齡兒童就學調查表

種 別	學 齡 人 員										種 別	
	不 修 學					修 學						
	總 計	未 就 學 其 他	疾 病	貧 窮	未 卒 業 退 學 者	計	既 卒 業 退 學 者	計	本 年 卒 業 退 學 者	本 年 半 途 退 學 者		本 年 末 現 員
本											男	
籍											女	
寄											合	
留											計	
合											計	
計												

- 一 此調査表ハ毎年市ノ尋常小學區及町村町村學校組合若クハ其區ノ學務委員ニ於テ調製スルモノトス
- 一 學齡人員ハ學齡簿ニ就キ毎年十二月末ノ現員ヲ計算シテ之ヲ記入スヘシ
- 一 年末現員トハ學校若クハ家庭其他ニ於テ尋常小學校補習科ヲモ併セ云フ高等小學校補習科ヲモ併セ云フ徒弟學校實業補習學校ノ教科ヲ修ムル者ノ年末現在員ヲ云フ
- 一 既卒業退學者トハ前數年間ニ尋常科舊簡易科ヲ卒リテ本年中就學セサル者ヲ云フ
- 一 未卒業退學者トハ前數年間ニ尋常科舊簡易科ヲ卒ラスシテ本年中就學セサル者ヲ云フ
- 一 戸數人口ハ本籍寄留ヲ論セス總テ年末ノ現在數ヲ記スヘシ

乙號第三式

明治何年何

市(何區) 郡何町村町村學校組合(何區)

何々(小學校 幼稚園 圖書館)

費出納表

種別	納部		出		計	何幼稚園	何圖書館	總計								
	前年ヨリ越	授業(保育觀察料)	寄附金	積金					市町納金	雜納金	計	學校長俸給	正教員(保母)俸給	准教員俸給	諸給料	雜給
小學校																
高等小學校																
計																
何幼稚園																
何圖書館																
總計																

廿五年

部	計	新 營 費	修 繕 費	諸 雜 費	小 計	翌 年 へ 越 高	積 金 へ 繰 入 レ 高	小學校		教員俸		給比較	
								種 別	正 教 員 准 教 員	最 多 額	最 寡 額	平 均 額	
								本	男	女			
								科	男	女			
								專	男	女			
								科	男	女			

授業料	小學校		種 別	月	額	免 除 人 員
	高 等	尋 常				
			最 多 額			
			最 寡 額			
			平 均 額			
			全 額 免 除			
			一 部 免 除			

一 此表ハ毎年末市町村町村學校組合若クハ其區ノ學務委員ニ於テ調製スルモノトス
 一 校費納ノ部寄附金ノ欄及ヒ積金利子ノ欄内ニハ學校基金ト其年費消スヘキモノトナ間
 ハス一切金額ヲ掲クヘシ
 一 本年中廢止セシ學校ノ學費ハ各種類ニヨリ其欄内ニ記入スヘシ
 一 給料最多寡額ハ年末現員中ニ就キ其月額ヲ掲ケ平均額ハ年末ノ現員ヲ以テ其給料ノ總
 金額ヲ扣除シタル者ヲ記入スヘシ
 一 授業料平均額ハ年末授業料ヲ納ムルモノ、現數ヲ以テ其納ムル所ノ總金額ヲ扣除シタ
 ルモノヲ記入スヘシ

乙號第四式 明治何年何市(何區) 郡何町村何村學校組合(何區) 公學所有品及學資寄附表

種別	敷地坪數		敷地價	內官有地下渡ノ分		附屬地坪數	附屬地價	家屋價	書籍價	器械價	資積		諸保証付株券
	坪數	坪數		坪數	坪數						金	債証書	
何尋常小學校													
何高等小學校													
計													
何幼稚園													
何圖書館													
總計													

附寄資學	品	計

一此表ハ每年末市町村町村學校組合若クハ其區ノ學務委員ニ於テ調製スルモノトス
 一所有品中積米等アラハ金額ニ改算ノ上積金額目中ニ併記スヘシ

廿五年

乙號第五式

明治何年何市(何區)
何町村町村學校組合(何區)

公立諸學校

(中學校ノ學位ニ屬スル) 學校及小學校ヲ除ク) 調查表

百三十四

名	稱	設立ノ 區別	位 置	創立年	學科	修業 年限	學 級 數	教員生徒		一ケ年 總額	一 ケ 年 費 金 額	學 校 長 學校 設立者
								男	女			

- 一 此表ハ毎年末市町村町村學校組合若クハ其區ノ學務委員ニ於テ調製スルモノトス
- 一 各種學校中數科ヲ教フルモノハ其主眼ノ學科ノミヲ掲クヘシ
- 一 私立ニ係ルモノハ市町村若クハ町村學校組合ノ學務委員其設立者ヲシテ必要ノ事項ヲ申報セシメ調製スルモノトス

乙號第六式

明治何年何市(何區)
何町村町村學校組合(何區)

公立幼稚園圖書館調查表

園	名	位	置	創 立 年	修 業 年 限	組 數	保 姆		幼 兒		保 育 終 了 ノ 者	一 ケ 年 保 育 料 總 額	歳 費 金 額	主 席 保 姆 名
							男	女	男	女				

廿五年

百二十五

圖 書 館									
館 名	館 長 名	一 閱 覽 費 金 額	一 閱 覽 料 總 額	開 館 日 數	閱 覽 人 員	冊 圖 書 數		創 立 年 置	位 置
						洋	和 漢		

一此表ハ毎年末市町村町村學校組合若クハ其區ノ學務委員ニ於テ調製スルモノトス
 一私立ニ係ルモノハ市町村若クハ町村學校組合ノ學務委員其設立者ヲテ必要ノ事項ヲ
 申報セシメ調製スルモノトス

甲第六十七號 十二月 郡町村及市ノ區役所

自今市町村立學校教員在職年數及年齡并罷免者在職年數
 等ノ儀其管理者ニ於テ左ノ甲乙號表式ニ依リ調製毎年一
 月限當廳ニ差出スヘシ
 右相達ス

甲號

明治 年市(町村)立何小學
 校正教員在職年數及年齡表

十二月三十一日調

年 齡	在職年數					總 計
	一 年 未 滿	滿 一 年 以 上 五 年 未 滿	滿 五 年 以 上 十 一 年 未 滿	滿 十 一 年 以 上 十 五 年 未 滿	滿 十 五 年 以 上	
滿 三 十 年 以 上						
三 十 年 以 下						
滿 十 年 未 滿						
四 十 年 未 滿						

廿五年

年俸總額	合計	滿四十年以上 五十年未滿	滿五十年以上 六十年未滿	滿六十年以上

在職年數調査ノ法ハ明治二十五年勅令第拾八號ニ據ル

乙號

明治 年市(町村)立何小學

校正教員罷免者在職年數表

十二月三十一日調

事	由	一年未滿	滿一年以上 五年未滿	滿五年以上 十年未滿	滿十年以上 十五年未滿	十五年以上
退職	六十年以上ニ至リ					

傷疾疾病ニ依リ退 職	廢校又ハ學校編制 ノ變更ニ依リ退職	自己ノ便宜ニ依リ 退職其他免職失職	死	職務ノ爲メ死亡

明治二十三年法律第九十號第三條ニ當ル者ハ「傷疾疾病ニ依リ退職」ノ欄内ニ記入シ符號ヲ附シテ他ノ數ト區別スヘシ

種別	退隱料ヲ受クル者		扶助料ヲ受クル遺族	
	本年支給ヲ始メタル者	本年支給ヲ止メタル者	本年支給ヲ始メタル者	本年支給ヲ止メタル者
前職名				
正教員				
准教員				
	現在總數	現在總數	現在總數	現在總數

明治二十三年法律第九十號ニ依リ一時給與金若クハ一時

扶助金ヲ受ケル者ハ其人員ヲ適宜記載スヘシ

甲第六十八號^{十二月廿六日}郡町村及市ノ區役所

本年十一月當府甲第五十七號達中第二項ハ取消トス

右相達ス

甲第六十九號^{十二月廿六日}郡

學事年報取調條項自今左ノ通相定ム曆年ノ調査ニ據リ翌年一月限差出スヘシ

但本文申報ノ際ハ學事表簿中甲號第五式乙號第二式乃

至第六式表各一葉ツ、取立添附スヘシ

右相達ス

學事年報取調條項

一 學事ノ狀況

學事施設ノ要領及學事ノ現状ヲ概記スヘシ

一 學齡兒童

修學兒童増減ノ緣由及就學督責ノ實施其他學齡就學ニ

係ル狀況等ヲ記載スヘシ

一 小學校

廿五年

公立學校設置區域ノ數及校數位置設備等適否ノ狀況、單級小學校ノ數并其狀況、私立學校ノ代用、補習科專修科徒弟學校實業補修學校ノ設置及狀況、生徒修業ノ狀況及父兄ノ職業ニ關シ在學ノ長短學業進否ノ狀況ヲ記載スヘシ

一 教員

教員ノ資格高等尋常ノ別及師範學校ノ別、待遇ノ狀況、需用供給ノ關係等ヲ記載スヘシ

一 中學校

學校設置廢止ノ緣由、教員ノ資格、事務員ノ數、學校ノ設備、入學志願者ノ狀況出願者及入學者ノ數、生徒ノ增減、學級別生徒數、生徒養成ノ狀況、生徒學業ノ進否、卒業生ノ數、半途退

學者等ノ數、生徒卒業後ノ狀況等ヲ記載スヘシ

一 高等女學校

學校設置廢止ノ緣由、教員ノ資格、生徒ノ增減、生徒學業ノ進否、卒業生ノ數等ヲ記載スヘシ

一 專門學校及技藝學校

學校設置廢止ノ緣由、教授ノ要旨、教員ノ資格、生徒ノ增減、生徒學業ノ進否、卒業生ノ數、其他各學科ニ關スル狀況等ヲ記載スヘシ

一 盲啞學校及各種學校

學校設置廢止ノ緣由、教授ノ要旨、教員ノ資格、生徒ノ增減、生徒養成ノ狀況、生徒學業ノ進否等ヲ記載スヘシ

一 幼稚園

廿五年

幼稚園設置廢止ノ理由、保姆ノ資格、幼兒ノ増減、幼兒保育ノ狀況等ヲ記載スヘシ

一 圖書館

圖書館設置廢止ノ理由、圖書ノ増減、開館日數、閱覽人ノ増減等ヲ記載スヘシ

一 教科用圖書

教科用圖書ノ適否、需用供給ノ關係等總テ教科用圖書ニ係ル狀況ヲ記載スヘシ

一 公學資

公立學校等經濟ノ要領、授業料徵收ノ方法、寄附金等ノ増減、學校資財ノ増減、學資蓄積ノ方法及増減、經費、收支ノ方法等總テ學校維持并理財上ノ得失ニ係ル狀況ヲ記載ス

ヘシ

授業料ヲ徵收セスシテ維持スル學校アルトキハ其校數并維持ノ狀況ヲ記載スヘシ

一 郡會及町村會

學事ニ係ル議事ノ梗概ヲ記載スヘシ

一 教育會

組織并事業ノ梗概ヲ記載スヘシ

一 學事關係職員

學務擔任郡吏、郡視學、町村長、學務委員等總テ學務關係職員ノ事務ヲ措辨スル狀況等ヲ記載スヘシ

一 學事監督及獎勵

學校等巡視監督ノ狀況并教員生徒等獎勵ノ要領ヲ記載

廿五年

スヘシ

一 將來學事施設上須要ノ件

一 其他學事ニ付申報スヘキ條件ハ便宜類聚記載スヘシ

一 右各項中計數ニ係ルモノハ詳ニ表示スヘシ

右相達ス

甲第七十號 廿七日 郡町村、市ノ區役所

明治廿三年一月甲第二號陸海軍人員取調表并國民兵役人

員表取調表達中左ノ通改正ス

(三月一日)ヲ(十二月三十一日)ニ(同月十五日限リ)ヲ(翌年一

月三十一日限リ 區長ニ(ヨリ)ハ同月三十一日)ヲ(ニ於テ

ハ一郡一表ニ調製シ二月十五日)ニ改ム

右相達ス

甲第七十一號 廿八日 綴喜郡町村役場

明治廿六年一月以降町村ニ於テ徵收スヘキ別紙國稅ノ徵

收ハ町村ノ便宜ヲ謀リ納期末二日間木津支金庫并直稅署

木津分署收入官吏等綴喜郡役所へ派出事務取扱候條其派

出先へ納付スヘシ

右相達ス

(別紙)

木津支金庫并收入官吏派出徵收ニ係ル國稅納期別表

納期限 種 別

一月十五日 地租第三期

一月三十一日 (烟艸稅、醬油稅、菓子稅、賣藥稅、
船稅、車稅、牛馬賣買免許稅) 前半年分

二月二十八日 地租第四期 菓子製造稅第二期

廿五年

三月三十一日	地租第五期	所得稅后半年分
五月三十一日	地租第六期	(烟艸稅、醬油稅、菓子稅、賣藥稅、 船、稅車稅、牛馬賣買免許稅) 后半年分
七月三十一日	菓子製造稅第一期	
八月三十一日	地租第一期	所得稅前半年分
九月三十日	地租第二期	
十一月三十日		

告示第二號 十一月十四日

何鹿郡元栗村井堰ニ係ル事業之爲メ同郡以久田村之内大字栗長砂井ニ小崎新田内二番三番四番十二番十三番十四番十五番二十一番三十五番三十六番地ヲ除ク佐賀村之内大字私市小具ヲ區域トシ普通水利組合ヲ設ケ以久田村長ヲ以テ其管理者ト定ム

告示第七號 十一月廿九日

地盤ノ官有ニシテ其費市町村ノ負擔ニ係ル堤塘道路用懸水路土居敷等ニ屬スル竹木枯損倒木又ハ障害等ニテ伐採ヲ要スル分アルハ其市町村役場ヘ申出ヘシ

告示第八號 十一月廿九日

右告示ス

町村制第四條ノ手續ヲ履行シ愛宕郡瀨峰村之内字蓮臺野
内畑花之坊十二坊東寺崎御興道並ニ舊土居之内五番地六番
地及道路敷
一畝二木ノ畑町ノ内一番一合地及道ヲ分割シ新ニ野
十一歩路敷四畝十八歩溝敷三歩六合ヲ分割シ新ニ野
口村ヲ置ク

右告示ス

告示第十號 十二月

明治二十四年十二月告示第九十四號第一項中官有ノ二字ヲ刪

除ス(廿四年告示第九十四號第一項中官有ノ二字ヲ刪
諸願何屆名宛區別中追加項目)

右告示ス

告示第十二號 十二月

衆議院議員左ノ通當撰ス

第一區

坂本則美

第二區

竹村藤兵衛

第三區

正木安左衛門

第四區

西川義延

第五區

田中源太郎

第六區

石原半右衛門
神鞭知常

右告示ス

告示第十三號 十二月

紀伊郡徵兵參事員石原磯次郎千歳市兵衛築山三郎兵衛辭
職ニ付左ノ者補欠當撰就職セリ

紀伊郡東九條村

石羽秀定

同郡伏見町字銀坐三町目

廿五年

北村 治兵衛
同郡横大路村字横大路

山本 亦三郎

右告示ス

告示第十七號 廿二日

廿六日

當府各撰舉區衆議院議員當撰人左ノ通り確定ス

上京區寺町通石藥師下ル染殿町

第一區

坂本 則美

下京區新町通五條下ル蛭子町

第二區

竹村 藤兵衛

乙訓郡乙訓村

第三區

正木 安左衛門

綴喜郡田邊村

第四區

西川 義延

南桑田郡龜岡町

第五區

田中 源太郎

船井郡川邊村

第五區

石原 半右衛門

與謝郡石川村

第六區

神 鞭 知 常

右告示ス

告示第十八號 廿九日

廿九日

本府尋常師範學校生徒學資支給方法別紙之通改定ニ來ル

四月一日ヨリ施行ス

廿五年

右告示ス

京都府尋常師範學校生徒學資支給方法

第一條 生徒ニ支給スヘキ學資ハ食物被服及雜費ノ三種

目トス

但被服ハ男生徒ニ限ル

第二條 食物ハ一日代價八錢トシ學校ニ於テ之ヲ賄フヘ

シ

第三條 被服ハ左ノ九種トシ一定ノ時期ニ於テ之ヲ給シ

若シ所定ノ期限内ニ於テ損傷シ更ニ交付スルヲ要スル

申ハ其費用ヲ本人ヨリ徴收スヘシ

一 冬衣袴 但品質 紺小倉

一 夏衣袴 全 白小倉

一 冬シャツ袴下 全 綿フランチル

一 夏シャツ袴下 全 白金巾

以上四種ハ入學ノ初年各二組ヲ給シ次年ヨリ毎年

各壹組ヲ給ス

一 外套雨靴 全 軍艦羅紗

在學中壹枚ヲ給ス

一 靴 全 短靴

一 脚絆 全 麻布

以上二種ハ毎年各二足ヲ給ス

一 帽子徽草及日庇共 全 黑羅紗

在學中二個ヲ給ス

一 靴下 全 綿和製

廿五年

毎年拾八足ヲ給ス

第四條 雜費ハ左ノ四種トス

一 薪炭油 但寄宿用

一 修理

一 湯浴

一 療養費

第五條 修理ハ被服ノ洗濯及靴ノ修履トシ一ヶ月男生徒

ニ金八錢女生徒ニ金四錢ヲ給ス

第六條 湯浴ハ學校内ニ其場ヲ設ク

第七條 療養費ハ發病ノ生徒ニ療養ヲ命シタル時ニ限り之ヲ給ス

第八條 給與シタル被服ハ卒業シテ退學スルモノニ在リ

ハ之ヲ返納セシムルヲ要セスト雖も半途退學ヲ命シタルモノニハ其際現存スル品々ヲ悉皆返納セシム

第九條 生徒假入學中ハ第三條ノ被服第五條ノ修理ハ之ヲ給セス

第十條 休業又ハ疾病ノ爲メ歸郷ヲ命シタル時ハ第二條

第四條ノ物品金錢ノ支給ヲ止ム

但不得止ノ事故ニ依リ請テ下宿或ハ歸郷セシモノモ本文ニ依ル

第十一條 不都合ノ行爲アルヲ以テ退學ヲ命シタルモノハ在學中給與シタル一切ノ學資ヲ償還セシムルモノト

ス

告示第二十號 三 日

廿五年

明治廿四年當府告示第百號及ヒ本年同第一號府會議員半
數改選左ノ適當選就職セリ

上京區

堺町通二條上ル龜屋町

中 安 信 三 郎

御車道清和院口上ル梶井町

畑 道 名

室町通中立賣上ル藥屋町

舟 木 宗 治

寺町通竹屋町上ル下御靈前町

大 澤 善 助

西洞院通樵木町上ル東裏辻町

堀 五 郎 兵 衛
吉 田 町
鈴 鹿 正 靜
寺町通二條上ル要法寺前町
白 山 茂 兵 衛
下立賣通知惠光院西入下丸屋町
山 中 小 兵 衛
淨 土 寺 町
赤 沼 隼 三 郎
寺町通鞍馬口下ル高德寺町
松 永 恒 久

下京區

烏丸通四條下ル水銀屋町

雨森 菊太郎

三條通寺町東入石橋町

古川 吉兵衛

土手町通七條上ル紺屋町

下間 庄右衛門

五條通橋東二町目

中村 榮助

四條通河原町東入眞町

玉水 新太郎

大宮通三條下ル三條大宮町

松盛 徳三郎

油小路通魚棚下ル西若松町

高橋 正意

本町通十町目

伊藤 庄兵衛

本町通十六町目

矢戸 龜三郎

御幸町通佛光寺下ル福町

福住 熊次郎

古門前通大和大路東入三吉町

梶原 伊八

三條通高倉東入榭屋町

河村 清七

四條通寺町西入奈良物町

木村 平兵衛

愛宕郡下鴨村

鴨脚 光敷

葛野郡川岡村字牛ヶ瀬

津田 八郎兵衛

同郡太秦村字安井

中沼 駿六

乙訓郡新神足村字勝龍寺

久貝 六之進

紀伊郡伏見町字過書

築山 三郎兵衛

宇治郡笠取村字東笠取

井上 萬之助

久世郡佐山村字林

今村 忠平

綴喜郡大住村字大住

吉田 喜内

相樂郡高麗村字椿井

西村 直三郎

同郡笠置村字笠置

大倉 並造

廿五年

南桑田郡大井村字並河

並河 淵

同郡保津村

村上捨次郎

北桑田郡山國村字大野

野尻岩次郎

船井郡本莊村字西田

小早川彦六

何鹿郡中筋村字延

羽室嘉右衛門

同郡佐賀村字報恩寺

片岡健之助

天田郡曾我井村字天田

塩見清三郎

加佐郡倉梯村字溝尻

木船衛門

同郡岡田上村字大俣

岩田誼太郎

與謝郡養老村字奧波見

品川藤右衛門

中郡五箇村字二箇

野木禹之介

竹野郡德光村字德光

永島米治

熊野郡久美濱村

山本三四郎

右告示ス

告示第廿一號 五月

町村制第四條第一項之手續ヲ履行シ府下中郡大野村ヲ分
チ新ニ口大野村與大野村ヲ置ク

右告示ス

告示第二十五號 三月

本年^三月^三日大藏省令第四號ニ依リ登記印紙ヲ以テ納ムヘキ手數料
ノ印紙ハ同第三號ニ依リ各其願書ニ貼付スヘシ(本年告示第四十八號ヲ以テ追加アリ)

右告示ス

告示第二十六號 三月

本府尋常師範學校小學校教員講習規則別紙之通相定ム

右告示ス

京都府尋常師範學校小學校教員講習規則

第一條 本則ハ管内尋常小學校教員タルニ必須ノ學科ヲ

練習セシムルカ爲メ之ヲ設クルモノトス

第二條 講習員ハ左ノ資格ヲ有スル者ヨリ之ヲ募集ス

一 小學校教員免許狀ヲ受得シ一ケ年以上公立小學校
訓導若クハ准訓導ノ職ニ在リシ者

二 從前ノ成規ニ依リ免許狀ヲ受得シ一ケ年以上公立
小學校訓導若クハ授業生ノ職ニ在リシ者

前項第一款ノ准訓導第二款ノ授業生ニシテ募集ニ應ス
ヘキ者ハ其年齡男子ハ十九年以上女子ハ十七年以上ノ

廿五年

者ニ限ル

第三條 講習期限ハ五ヶ月以上一ヶ年以内トシ其都度之ヲ定ム

第四條 講習時間ハ每週凡ソ三十四時トス

第五條 講習員ハ一回定員五拾名トス

募集ノ期日、人員、資格及學力調査方ニ付テハ其都度學校長ヨリ各郡長及市ノ區長ニ通知スヘシ

第六條 郡長及市ノ區長ニ於テ前條第二項ノ通知ヲ受ケタル時ハ志願者ヲ募リ其中ニ就テ之ヲ撰出スヘシ

但志願者現ニ教職ニ在ル時ハ郡長ニ於テ其學校ノ管理者ニ協議ノ上撰出スヘシ

第七條 講習學科ハ明治二十四年十一月文部省令第十九號

第九條 尋常小學校本科正教員ノ試験目中ニ就キ其時々之ヲ定ム

第八條 講習員ハ學校長指定ノ場所ニ寄宿スヘシ

第九條 講習員ヘハ學資補助トシテ一ヶ月金貳圓ヲ支給ス

但歸郷中ハ本文學資ヲ給セス

第十條 講習員ハ中途退學スルヲ許サス

但己ムヲ得サル事情アリト認ムル者ハ此限ニアラス

第十一條 講習ハ試験ニ依リ成績ヲ考查シ其終リニ於テ

合格學科ノ修了証書ヲ授與スヘシ

第十二條 講習ヲ經タル者ハ其修了ノ月ヨリ滿二ヶ年間

ハ府知事ノ指定ニ從ヒ管内公立小學校教員ノ職ニ從事

廿五年

スヘキ義務アルモノトス

第十三條 講習中途ニシテ退學シ又ハ講習ヲ終リ前條ノ義務年間ニ於テ指定ノ職務ニ就カス若クハ教員タルノ面目ヲ汚スヘキ行爲アリテ未タ其職ニ就カサル前教員免許狀ヲ沒收セラレタル者ハ講習中ノ給費金額ヲ一時ニ償還スヘシ

講習ヲ經タル者一時指定ノ教職ニ從事スルモ第十二條ノ義務年間ニ於テ妄リニ之ヲ離ル、等不都合ノ行爲アリテ職務ヲ免セラレタル者ハ其義務年間ノ月數ヲ以テ講習中ノ給費金額ヲ除シ其商ニ免職ノ翌月ヨリ義務ヲ終ルヘキ月迄ノ月數ヲ乘シ其額ヲ一時ニ償還スヘシ

第十四條 前條ノ場合ニ於テ本人ヨリ給費金額ヲ償還セ

サル者ハ保証人ニ於テ之ヲ辨償スヘシ

第十五條 講習員ニシテ引續一ヶ月以上欠席スル者アル者ハ退學セシム此場合ニ於テハ第十三條ニ依リ給費金額ヲ一時ニ償還スヘシ

疾病其他已ムヲ得サル事故ノ爲メ學校長ニ於テ退學ヲ許シ又ハ府知事ニ於テ就職義務ヲ免カレシメタル者ハ第十三條ニ依リニアラス

但學校長ニ於テ退學ヲ許スヘキ場合ハ府知事ノ指揮ヲ乞フヘシ

第十六條 講習願書及證書式ヲ定ムルコト左ノ如シ
但證書ニ連署スヘキ保証人ハ管内ニ於テ一家計ヲ立ル者ニ限ル

講習願書式

某儀本府内小學校教員志願ニ付御校ニ於テ講習相受度別紙履歷書相添此段相願候也

住所族籍

年月日

姓

名

學校長宛

(履歷書ニハ生年月日、現齡、學業、免許狀、卒業証書、賞罰、勤務等ノ事項ヲ詳具スヘシ)

証書式

某儀今般御校ニ於テ講習相受候儀御許可相成候ニ付テハ若シ中途退學スルカ若クハ御指定年間奉職ノ義務ヲ

盡サス又ハ不都合ノ行爲アリテ免職或ハ免許狀ヲ沒收セラレタルキハ在學中給與ヲ受ケタル學資ハ御指定ニ從ヒ一時ニ償還可致若シ御指示ノ時日マテニ一時償還セサルキハ保証人ニ於テ引受其期限後十日以内ニ辨償可致候依テ保証人連署証書差出候也

住所族籍

姓名印

年月日

住所族籍

姓名印

保証人

學校長宛

告示第二十七號

十三日

本府尋常師範學校保姆傳習規則別紙ノ通相定ム

廿五年

百六十三

右告示ス

京都府尋常師範學校幼稚園保母傳習規則

第一條 本則ハ管内幼稚園保母タラント欲スルモノニ必

須ノ學科及ヒ實地保育法ヲ受クルカ爲メ之ヲ設ク

第二條 傳習員ハ左ノ資格ヲ有スルモノヨリ之ヲ募集ス

一 身體健全品行方正ナルモノ

一 年齡十七年以上ノモノ

一 高等小學校卒業以上ノ學力ヲ有スルモノ

第三條 傳習期間ハ凡一ケ年トシ每週傳習時間ハ三十四

時トス

第四條 募集ノ人員及ヒ期日ハ其都度學校ヨリ之ヲ廣告

ス

第五條 傳習ノ科目左ノ如シ

一 倫理

一 教育

一 國語

一 算術

一 理科

一 圖畫

一 習字

一 音樂

一 實地

第六條 傳習員ハ總テ通學トス

第七條 傳習員ノ學資ハ總テ自辨タルベシ

廿五年

第八條 傳習員ハ中途退學ヲ許サス

但己ムヲ得ザル事情アリト認ムルトキハ本文ノ限ニ
アラズ

第九條 傳習員ハ學校指定ノ時日ニ於テ傳習料トシテ金

壹圓ヲ前納スヘシ

但中途退學ノ場合ニ於テモ本文料金ハ之ヲ返附セサ
ルモノトス

第十條 傳習ハ試験ニ依リ成績ヲ考査シ合格ノモノニハ
其終リニ於テ修了証書ヲ授與スヘシ

第十一條 傳習願書々式ヲ定ムルヲ左ノ如シ

願書式

某儀本府内幼稚園保姆志願ニ付キ御核ニ於テ傳習相受

度別紙履歷書相添此段相願候也

年月日

住所族籍

姓名

學校長宛

(履歷書ニハ生年月日、現齡、學業、免許狀卒業証書、賞罰、勤務
等ノ事項ヲ詳具スヘシ)

告示第三十號 廿三月
廿一日

今回臨時會ニ於テ本月十八日郡部常置委員同十九日市部
常置委員左ノ適當選就職セリ

市部常置委員

堤 彌 兵 衛

廿五年

植 島 幹

山 岡 景 命

清 水 吉 右 衛 門

熊 澤 直 行

郡部常置委員

野 尻 岩 次 郎

山 本 佐 兵 衛

上 野 彌 一 郎

小 松 喜 平 治

小 早 川 彦 六

右告示ス

告示第三十五號
三月廿六日

今般市部郡部常置委員改選ニ付府徴兵參事員互選セシメ
候處左ノ通當選ス

清 水 吉 右 衛 門

山 本 佐 兵 衛

野 尻 岩 次 郎

堤 彌 兵 衛

右告示ス

告示第三十七號
三月廿六日

本年二月當府告示第十一號府會議員補欠員左ノ通當選就
職セリ

京都市上京區烏丸通三條上ル場ノ町

堀 田 康 人

廿五年

右告示ス

告示第四十號 三十日

何鹿郡綾部町大字綾部村同本宮村同青野同井倉ノ各幾分
同郡中筋村大字岡同延同大島同高津ノ各幾分並ニ天田郡
西中筋村大字觀音寺同興ノ各幾分ヲ區域トシ普通水利組
合ヲ設ケ綾部町長ヲ以テ其管理者ト定ム

右告示ス

告示第四十三號 三十一日

本年三月内務省令第一號醫師并藥劑師免狀新規書換手數
料登記印紙之義ハ免狀下付之節其受書ハ貼用スヘシ

右告示ス

告示第四十五號 二日

本年二月當府告示第十四號何鹿郡徵兵參事員補欠員左之
通當選就職セリ

何鹿郡西八田村字淵垣、
能勢長十郎

右告示ス

告示第四十六號 二日

明治廿年五月大藏省令第八號所得稅法施行細則所得金高届
書式ハ届人一己ニ係ル所得届出方ノ概要ニシテ稅法第一
條但書ニ依リ家族ノ所得金合算ノ場合ニ於テハ右ニ準シ
一人別ノ所得金ヲ各別項ニ掲載シ之ヲ合算スヘキ儀ト心
得ヘシ

右告示ス

廿五年

告示第四十八號 四月七日

本年三月當廳告示第二十五號手数料ノ下へ(賣藥營業鑑札料及同再渡手数料ヲ除ク)ノ割註ヲ挿入シ左ノ一項ヲ追加ス

賣藥營業鑑札料及同再渡手数料ハ鑑札下付ノ際鑑札番號及方名下付ノ事由ヲ記載シタル鑑札領收証ニ印紙ヲ貼付シ差出スヘシ

右告示ス

告示第五十號 四月十日

府下ニ於ケル林區派出所名稱之義本月七日ヨリ左ノ通り改稱セシ旨其筋ヨリ通知アリ

改稱 京都小林區署元東山派出所

但管轄區域ハ元東山派出所管轄區域ノ通り

全 木津小林區署元木津派出所

但管轄區域ハ元木津派出所管轄區域ノ通り

右告示ス

告示第五十二號 四月十二日

本年三月當府告示第十九號府會議員補欠員左ノ適當選就職セリ

乙訓郡向日町字寺戸

長谷川 三郎兵衛

右告示ス

告示第五十四號 四月十五日

明治廿一年七月當廳告示第四十五號所在登記所ノ下へ又ハ間稅分署ノ六字ヲ追加ス(廿一年告示第四十五號証券印紙賣捌所ハ登記所ノ承認ヲ得テ人民控所ニ出張シ印紙ノ賣捌ヲ爲スヲ得ルノ件)

廿五年

右告示ス

告示第五十六號 廿四日

本年三月當府告示第二十三號乙訓郡徵兵參事員補欠員左ノ適當選就職セリ

乙訓郡大原野村字大原野

齋藤龜太郎

全郡大山崎村字大山崎

松田孝秀

右告示ス

告示第五十八號 廿六日

陸軍省令第五號陸軍召集旅費支出規程第八條第一項ニ依リ郡役所ノ外左ノ箇所へ旅費支給場所ヲ設ク

(參看本年告示第七十四號)

愛宕郡役所管内

花脊村役場

葛野郡役所管内

小野郷村役場

綴喜郡役所管内

宇治田原村役場

南桑田郡役所管内

本梅村役場

北桑田郡役所管内

平屋村濟美尋常小學校

船井郡役所管内

檜山村役場

何鹿郡役所管内

中上林村役場

加佐郡役所管内

志樂村役場

河守町役場

與謝郡役所管内

加悦町役場

養老村役場

竹野郡役所管内

上宇川村役場

右告示ス

告示第六十號 四三月十日

本年三月當府告示第三十六號愛宕郡徴兵參事員補欠員左ノ適當選就職セリ

愛宕郡岩倉村字岩倉

堪木義延

右告示ス

告示第六十一號 五六月

本年三月當府告示第三十九號府會議員補缺員左ノ適當選就職セリ

葛野郡松尾村字下山田

太田茂平

同郡梅津村字東梅津

廿五年

右告示ス

告示第六十二號五月七日

陸軍省令第五號陸軍召集旅費支出規程第八條第一項ニ依リ京都市ノ現金前渡ヲ受ク可キ官吏ヲ直稅署京都分署長ト定ム

右告示ス

告示第六十三號五月一日

本年三月當府告示第三十二號葛野郡徵兵參事員補欠員左ノ適當選就職セリ

葛野郡太秦村字嗟峨野

中川利右衛門

右告示ス

告示第六十四號五月十二日

天田郡曾我井村大字堀ノ内堀田甫全大字天田ノ内木村田甫ヲ區域トシ普通水利組合ヲ設ク曾我井村長ヲ以其管理者ト定ム

右告示ス

告示第六十六號五月十七日

明治二十年三月當府告示第三十號尋常師範學校尋常中學校高等女學校教員學力試驗ニ係ル各學科ノ區分并ニ各科試驗ノ程度中各學科ノ區分左ノ通改定セラル

學科區分

倫理、教育、國語、漢文、英語、佛語、獨語、數學本學科ハ算術、代數、幾何、三角法、測量、解折幾何、及微分積分

廿五年